

VM0404HB/VM0808HB

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、VM0404HB/VM0808HB 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く改変されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2018 年 6 月 15 日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く改変されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピュータのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピュータ等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30 日	初期不良、新品交換※1
	31 日～3 年間	無償修理
	3 年以上	有償修理※2
②型番 CL から始まる LCD 搭載製品のみ	製品納品日～30 日	初期不良、新品交換※1
	31 日～2 年間	無償修理
	3 年目以降	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL（生産終了）が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。また、EOL 製品の型番や、修理可否、後継機種については、随時情報更新を行っておりますので、弊社 Web ページにて最新情報をご確認ください。

※製品保証期間の延長や故障時の代替品などの保証オプションについては、弊社 Web ページをご確認ください。

【補足】

- ・本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ・ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。それでも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は映像関連システムやコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。しかし、使用環境等によってはその機能が制限されることがあります。弊社では、ご購入前に弊社製品をお試しいただける「評価機貸出サービス」を、無償でご提供しております。評価機貸出サービスに関するお問い合わせは、弊社代理店または弊社 Web サイト(<https://www.aten.com/jp/ja/>)内の「お問い合わせ」フォームをご利用ください。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定	ii
製品についてのお問い合わせ	v
EMC 情報	4
RoHS.....	4
安全にお使い頂くために.....	5
全般	5
ラックマウント	7
同梱品.....	8
VM0404HB	8
VM0808HB	8
本マニュアルについて.....	9
マニュアル表記について.....	10
第1章 はじめに.....	11
概要	11
特長	12
システム要件.....	13
ソースデバイス.....	13
ディスプレイ	13
ケーブル	13
ブラウザ.....	14
製品各部名称	15
VM0404HB フロントパネル	15
VM0404HB リアパネル	17
VM0808HB フロントパネル	18
VM0808HB リアパネル	19
IR リモコン	20
第2章 セットアップ方法.....	21
ラックへの取り付け.....	21
製品の接地.....	22
ケーブルの接続.....	23

接続図	24
第 3 章 フロントパネルを使った設定方法.....	25
概要.....	25
フロントパネル操作	25
パスワードの入力	27
メイン画面.....	28
ポート切替	28
LCD メニュー構成	32
メニュープッシュボタン.....	33
IP の設定.....	33
シリアルポートの設定	34
操作モード.....	35
セキュリティモード.....	39
プロファイルの保存.....	41
プロファイルスケジュールの再生/停止	43
プロファイルプッシュボタン	44
IR リモコンの操作	46
出力ディスプレイに対する入力ソースの変更	46
出力ディスプレイの個別出力 ON/OFF	46
出力ディスプレイの一括出力 ON/OFF	47
第 4 章 ブラウザ操作.....	48
概要.....	48
ログイン.....	48
メイン画面.....	50
メニューバー	50
接続表.....	52
プロファイルリスト.....	56
プロファイルの追加/再生.....	56
プロファイルリストのオプション	58
プロファイルのインポート/エクスポート.....	59
プロファイルスケジュール	60
システム設定.....	63
一般	64
ユーザーアカウント.....	66
ポートネーム.....	69
ネットワーク	70

EDID 設定	71
メンテナンス	81
HDCP	82
CEC	83
Telnet 操作.....	84
設定メニュー	84
第 5 章 RS-232 コマンド	88
シリアル操作プロトコルコマンド	88
RS-232 ピンアサイン	88
シリアルポートの設定	88
入力確認.....	89
ポート切替コマンド	90
EDID コマンド	92
ミュートコマンド	95
CEC コマンド.....	97
エコーコマンド	99
画面暗転コマンド	100
読込コマンド.....	101
リセットコマンド.....	101
ボーレートコマンド	102
プロファイルの保存/呼び出しコマンド	103
電源状態検知コマンド.....	105
付録.....	106
製品仕様.....	106

EMC 情報

FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 のデジタル装置 Class A の規定に準拠しています。動作は次の2つの条件を前提としています。(1)本製品による有害な干渉が発生しない。(2)本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉をすべて受け入れる。

FCC による注意:本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

警告:本製品をご家庭で使用した場合、電波干渉を引き起こす可能性があります。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。



安全にお使い頂くために

全般

- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。また、弊社 Web サイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱するおそれがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 製品付属の電源ケーブルは安全のために 3 ピンタイプのプラグを使用しています。電源コンセントの形状が異なりプラグを接続できない場合には電気事業者に問い合わせで適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所を避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。電源コンセントにつながれている製品全ての合計アンペア数は 15 アンペアを超えないようにしてください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。

- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。
- ◆ 危険な電源ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットの空きスロット等に押し込まないようにしてください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントからはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損した。
 - 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水にぬれた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。
- ◆ 電気回路が過負荷状態に陥らないようにしてください。電気機器を回路に接続する前に、電源の上限を把握しておき、これを超えないように注意してください。回路の電気仕様を常に見直して、危険な条件を生じさせていないかどうか、また、すでに危険な条件がそろっていないかどうかを確認してください。電気回路の過負荷は火災や機器破損の原因となります。

ラックマウント

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックに固定され床に接していること、また、ラック全体が安定した場所に置かれていることを確認してください。作業する前に、シングルラックにフロントとサイドのスタビライザーを取り付けるか、結合された複数のラックにフロントスタビライザーを取り付けてください。
- ◆ ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取り付けてください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ ラックに供給する AC 電源の分岐回路が過剰供給にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の 80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ◆ ラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度を超えないように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。

同梱品

VM0404HB/VM0808HB 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

VM0404HB

- ◆ VM0404HB 4 入力 4 出力 HDMI マトリックススイッチャー (True 4K 対応) ×1
- ◆ 電源コード ×1
- ◆ IR リモコン ×1
- ◆ IR レシーバー ×1
- ◆ マウントキット ×1
- ◆ クイックスタートガイド* ×1

VM0808HB

- ◆ VM0808HB 8 入力 8 出力 HDMI マトリックススイッチャー (True 4K 対応) ×1
- ◆ 電源コード ×1
- ◆ IR リモコン ×1
- ◆ IR レシーバー ×1
- ◆ マウントキット ×1
- ◆ クイックスタートガイド* ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

* 本マニュアルの公開後に、製品仕様が追加される場合があります。最新版は弊社 Web サイトにアクセスしてご確認ください。

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、VM0404HB/VM0808HB に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。本マニュアルは下記のとおり構成されています。

第1章 はじめに: VM0404HB/VM0808HB を紹介します。特長、機能概要および製品各部名称について説明します。

第2章 セットアップ方法: お使いの VM0404HB/VM0808HB をセットアップする手順について説明します。

第3章 フロントパネルを使った設定方法: VM0404HB/VM0808HB をローカル側からプッシュボタンを使用し、フロントパネルの LCD ディスプレイ経由で操作する方法について説明します。

第4章 ブラウザ操作: VM0404HB/VM0808HB のブラウザ GUI に関する詳細な説明と、GUI を使用してリモートから VM0404HB/VM0808HB を設定・操作する方法について説明します。

第5章 RS-232 コマンド: 追加したソースデバイスが機能できるように、RS-232 シリアルポート経由で実行できるシリアル制御コマンドを掲載しています。

付録 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

マニュアル表記について

[] 入力するキーを示します。例えば[Enter]は**エンター**キーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。

1. 番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。



◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。



矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Run はスタートメニューを開き、Run を選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

第1章 はじめに

概要

VM0404HB/VM0808HB は、4/8 系統の HDMI 信号をマトリックス状に 4/8 系統に切替・分配できる、HDMI マトリックススイッチャーです。最大 4,096×2,160@60Hz(4:4:4)の解像度に対応した本製品は、デジタルビデオの入出力の組み合わせを自由に、そして素早く切り替えられるため、イベント会場や教室、ホール、デパートのような場所での True 4K デジタルコンテンツの配信に最適です。

本製品は、フロントパネルのディスプレイやプッシュボタン、または IR リモコンを使用することで、簡単に設定することができます。LCD パネルでは、全ポートの接続が一目瞭然ですので、ユーザーは製品内蔵の設定ユーティリティを使って、各種機能へ手軽にアクセスできます。

また、わかりやすい GUI を提供しているので、ユーザーはリモートから Web ブラウザを使用して、リモートからの設定や、ソースデバイスとディスプレイ間の切替のカスタマイズを簡単に行うことができます。VM0404HB/VM0808HB は標準的な TCP/IP 接続によって操作できるため、既存のネットワークに組み込めば、簡単にリモートアクセスが実現できる製品です。さらに、既存のシステムへ完全に組み込むことを考慮し、シリアル制御にも対応しています。製品本体には RS-232 ポートが搭載されているため、シリアルリモートコントローラーやコンピューターを介して切替操作を行うことができます。

注意: 対応する True 4K 解像度は 4,096×2,160/3,840×2,160@60Hz(4:4:4)です。

特長

- ◆ VM0404HB は 4 系統の HDMI 信号を 4 系統に、また VM0808HB は 8 系統の HDMI 信号を 8 系統に、それぞれマトリックス分配切替が可能
- ◆ True 4K 対応－最大 4,096×2,160/3,840×2,160@60Hz (4:4:4)
- ◆ ローカル側での操作 - フロントパネルのプッシュボタン、IR リモコン
- ◆ リモート側での操作 - RS-232、イーサネット接続 (Telnet、Web GUI)
- ◆ 直感的な Web GUI 制御と管理
- ◆ EDID エキスパート機能 - 自動/手動で適切な EDID モードを選択可能
- ◆ 最大 6Gbits の信号伝送速度で完全な 4K 出力を実現
- ◆ HDMI (3D、Deep Color、4K) および HDCP 2.2 準拠
- ◆ 相互接続された HDMI デバイスは CEC (Consumer Electronics Control) により 1 台のリモコンで操作が可能
- ◆ 電源状態検知機能 - コンピューターの電源が OFF になると、電源が入っている方のコンピューターに自動切替
- ◆ ATEN 製 HDMI ケーブルロック「LockPro」で HDMI ケーブルを固定
- ◆ ESD 保護
- ◆ ファームウェアアップグレード対応
- ◆ ラックマウント可能 (1U 設計)

システム要件

VM0404HB/VM0808HB をセットアップするには、下記のハードウェア環境が必要です。

ソースデバイス

- ◆ HDMI タイプ A 出力ポートを搭載したコンピューターまたは A/V ソースデバイス

注意： DVI タイプのソースデバイスを接続するには、DVI→HDMI 変換アダプターが必要です。

ディスプレイ

- ◆ HDMI タイプ A 入力ポートを搭載したディスプレイまたはレシーバー

ケーブル

- ◆ 接続するソースデバイスにつき HDMI ケーブル×1
- ◆ 接続するディスプレイデバイスにつき HDMI ケーブル×1
- ◆ カテゴリ 5e ケーブル×1
- ◆ RS-232 シリアルケーブル×1

注意： これらのケーブルは VM0404HB/VM0808HB 製品パッケージに同梱されていません。画質とオーディオの品質に影響を与える可能性があるため、適切な長さの高品質ケーブルを別途ご購入されることを推奨いたします。ケーブルのご購入については、販売代理店までお問い合わせください。

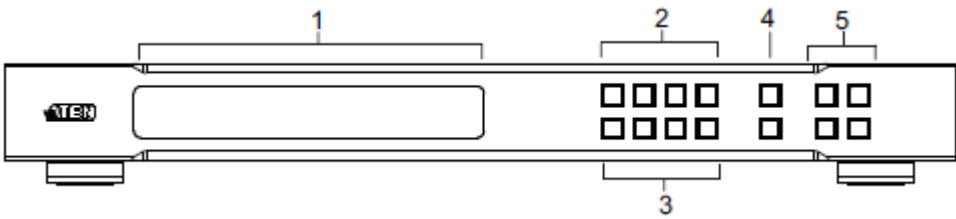
ブラウザ

本製品がサポートする Web ブラウザは下表のとおりです。

OS	Java バージョン	ブラウザ	バージョン
Windows 2016	V1.8.0_161	IE	11
Windows 2012 R2	V1.8.0_161	IE	11
Windows 10	V1.8.0_161	Edge	40.15063.0.0
		Firefox	58.0.2
		Chrome	64
		Opera	50
Windows 8.1	V1.8.0_161	IE	11
Windows 7 SP1	V1.8.0_161	IE	11
CentOS 7.0	V1.8.0_161	Firefox	58.0.2
Ubuntu 16.04	V1.8.0_131	Chrome	64
Mac 10.9		Safari	10.9

製品各部名称

VM0404HB フロントパネル

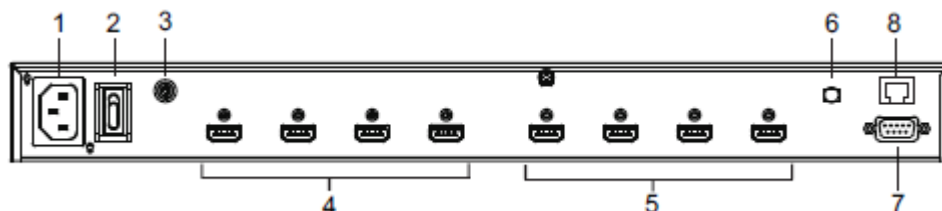


No.	名称	説明
1	LCD ディスプレイ	LCD ディスプレイでは、全ポート接続を一目で確認することができます。また、ここには VM0404HB の設定や操作に関する各種オプションが表示されます。詳細は p.28「メイン画面」を参照してください。
2	入力プッシュボタン	これらのプッシュボタンは、VM0404HB リアパネルにある HDMI 入力ポートに関連しています。入力ポートを選択するには、そのポートに関連するボタンを押してください。これらのボタンは、メニューオプションや接続プロファイル (P1～P4) などにも対応しています。 注意: フロントパネルの入力ボタン(1～4)にはLEDランプが内蔵されており、点灯している場合は、それが選択されていることを表しています。
3	出力プッシュボタン	これらのプッシュボタンは、VM0404HB リアパネルにある HDMI 出力ポートに関連しています。出力ポートを選択するには、そのポートに対応するボタンを押してください。これらのボタンは、接続プロファイル (P5～P8) にも対応しています。 注意: フロントパネルの出力ボタン(1～4)にはLEDランプが内蔵されており、点灯している場合は、それが選択されていることを表しています。
4	Prev/Next ボタン	このボタンを押すと、LCD ディスプレイに表示されるメニュー項目を前後に切り替えます。

(表は次のページに続きます)

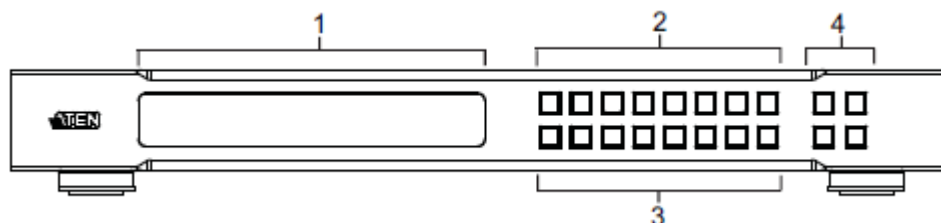
No.	名称	説明
5	機能プッシュボタン	機能プッシュボタン(MENU、PROFILE、ENTER、CANCEL の各ボタン)は、LCD に内蔵された設定ツールを操作するためのものです。詳細については、p.25「フロントパネル操作」を参照してください。 注意:フロントパネルにある MENU および PROFILE の各ボタンには LED ランプが内蔵されており、点灯している場合は、それが選択されていることを表しています。

VM0404HB リアパネル



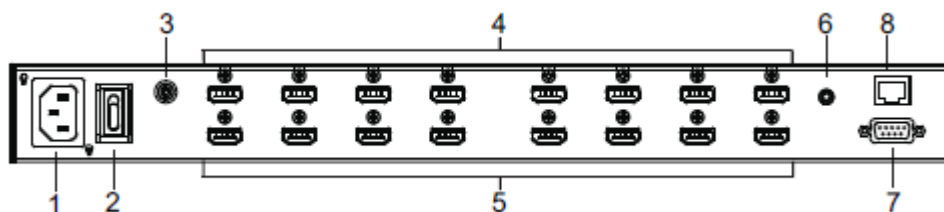
No.	名称	説明
1	電源ソケット	標準の3極タイプのAC電源ソケットです。ここに電源コードをつなぎ、AC電源へと接続します。
2	電源スイッチ	製品本体の電源をON/OFFする標準的なロッカースイッチです。
3	接地ターミナル	接地線を接続します。詳細は p.22「製品の接地」を参照してください。
4	HDMI 出力ポート	HDMI ディスプレイのケーブルを接続します。
5	HDMI 入力ポート	HDMI ソースデバイスのケーブルを接続します。
6	外付 IR レシーバーポート	製品に同梱されている IR レシーバーを接続するための 3.5mm ミニジャックです。
7	RS-232 シリアルポート	コンピューターやシリアルリモートコントローラーを接続するポートです。
8	イーサネットポート	VM0404HB のブラウザ GUI にアクセスするには、VM0404HB の製品本体をネットワークに接続しなければなりません。このポートにはVM0404HBをLANに接続するケーブルを接続します。詳細は p.23「ケーブルの接続」を参照してください。

VM0808HB フロントパネル



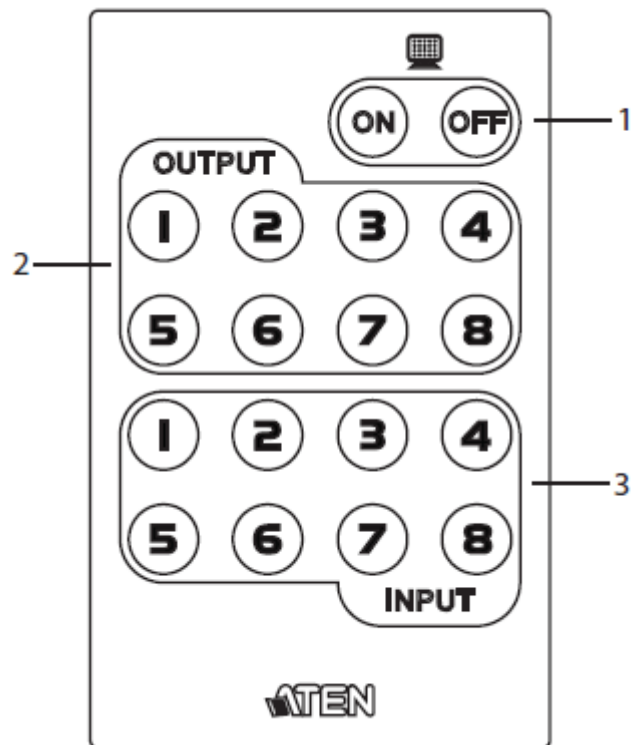
No.	名称	説明
1	LCD ディスプレイ	LCD ディスプレイでは、全ポート接続を一目で確認することができます。また、ここには VM0808HB の設定や操作に関する各種オプションが表示されます。詳細は p.28「メイン画面」を参照してください。
2	入力プッシュボタン	これらのプッシュボタンは、VM0808HB リアパネルにある HDMI 入力ポートに関連しています。入力ポートを選択するには、そのポートに関連するボタンを押してください。これらのボタンは、メニューオプションや接続プロファイル (P1～P8) などにも対応しています。 注意: フロントパネルの入力ボタン(1～8)にはLEDランプが内蔵されており、点灯している場合は、それが選択されていることを表しています。
3	出力プッシュボタン	これらのプッシュボタンは、VM0808HB リアパネルにある HDMI 出力ポートに関連しています。出力ポートを選択するには、そのポートに対応するボタンを押してください。これらのボタンは、接続プロファイル (P9～P16) にも対応しています。 注意: フロントパネルの出力ボタン(1～8)にはLEDランプが内蔵されており、点灯している場合は、それが選択されていることを表しています。
4	機能プッシュボタン	機能プッシュボタン (MENU、PROFILE、ENTER、CANCEL の各ボタン) は、LCD に内蔵された設定ツールを操作するためのものです。詳細については、p.25「フロントパネル操作」を参照してください。 注意: フロントパネルにある MENU および PROFILE の各ボタンには LED ランプが内蔵されており、点灯している場合は、それが選択されていることを表しています。

VM0808HB リアパネル



No.	名称	説明
1	電源ソケット	標準の 3 極タイプの AC 電源ソケットです。ここに電源コードをつなぎ、AC 電源へと接続します。
2	電源スイッチ	製品本体の電源を ON/OFF する標準的なロッカースイッチです。
3	接地ターミナル	接地線を接続します。詳細は p.21「本体のセットアップ方法」の手順 2 を参照してください。
4	HDMI 出力ポート	HDMI ディスプレイのケーブルを接続します。
5	HDMI 入力ポート	HDMI ソースデバイスのケーブルを接続します。
6	外付 IR レシーバーポート	製品に同梱されている IR レシーバーを接続するための 3.5mm ミニジャックです。
7	RS-232 シリアルポート	コンピューターやシリアルリモートコントローラーを接続するポートです。
8	イーサネットポート	VM0808HB のブラウザ GUI にアクセスするには、VM0808HB をネットワークに接続しなければなりません。このポートには VM0808HB を LAN に接続するケーブルを接続します。詳細は p.23「ケーブルの接続」を参照してください。

IR リモコン



No.	名称	説明
1	映像出力 ON/OFF	ON/OFF プッシュボタンを使用して、個別のポートまたはすべてのポートに接続された出力ディスプレイへの出力の ON または OFF ができます (p.46「IR リモコンの操作」参照)。
2	出力プッシュボタン 1～8	設定を変更したい出力ディスプレイポート番号を選択するには、 出力ディスプレイボタン 1～8 から、目的のポートに該当するボタンを押してください (p.46「IR リモコンの操作」参照)。
3	入力プッシュボタン 1～8	出力ディスプレイへの入力ソースを変更するには、 入力ソースプッシュボタン 1～8 から、目的のポートに該当するボタンを押してください (p.46「IR リモコンの操作」参照)。

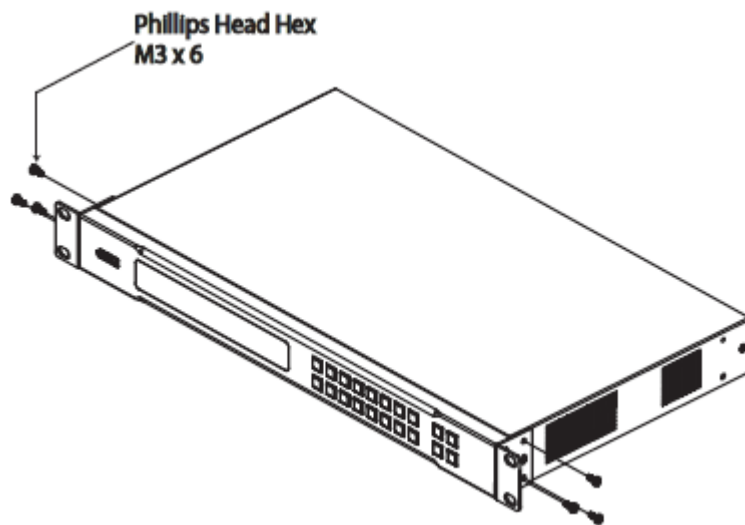
注意: VM0404HB の IR リモコンは、入力プッシュボタン、出力プッシュボタンともに、1～4 のボタンしかお使いいただけません。

第2章 セットアップ方法

ラックへの取り付け

VM0404HB/VM0808HB は 19 インチのシステムラックに 1U サイズで取り付けすることができます。ローカル側でフロントパネルのプッシュボタンを使用して設定や操作が簡単に行えるように、下記の手順で製品本体をラックのフロント側に取り付けてください。

1. ラックマウントキットに同梱されている M3 プラスネジ 6mm を使用して、ラックマウントブラケットを製品本体側面のフロント側にネジ止めしてください。

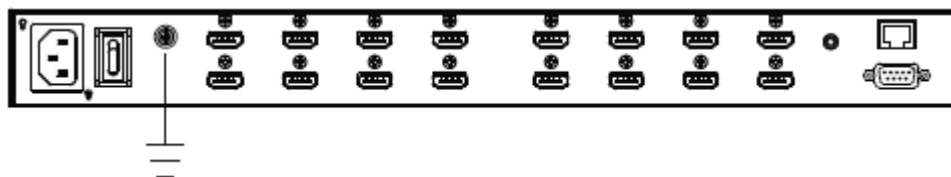


2. ラックのフロント側に製品本体を固定し、ラックのネジ穴とマウント用ブラケットの穴を合わせてください。
3. マウント用ブラケットをラックにネジ止めしてください。

製品の接地

破損を防ぐために、ご使用になる機器すべてを適切に接地してください。

1. 接地線の片方の端を VM0404HB/VM0808HB の接地ターミナルに接続し、もう片方の端を適切な接地物に接続してください。



2. VM0404HB/VM0808HB にセットアップされたデバイスがすべて適切に接地されていることを確認してください。

ケーブルの接続

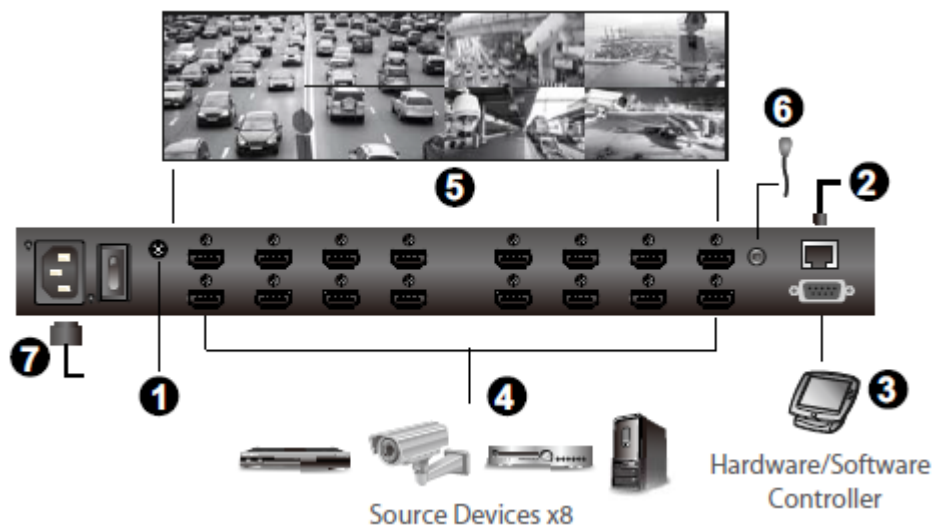
VM0404HB/VM0808HB をセットアップするには、次のページにある接続図(図にある番号は、下記の手順番号に対応)を参考にしながら、下記の手順に従って作業を行ってください。

1. 接地線の片方の端を接地ターミナルに、もう片方の端を適切な設置物にそれぞれ接続して、製品本体の接地を行ってください。

注意: この手順は省略しないでください。適切な接地をすることで電圧変化や静電気による機器の破損防止に一定の効果があります。

2. ブラウザ操作を行う場合は(p.48「ブラウザ操作」参照)、ネットワークに接続されている LAN ケーブルを VM0404HB/VM0808HB のイーサネットポートに接続してください。
3. シリアルコントロール機能を使用する場合は、適切な RS-232 シリアルケーブルを使用して、コンピューターまたはシリアルコントローラーを VM0404HB/VM0808HB の **RS-232** シリアルポート(メス)に接続してください。
4. HDMI ビデオソースデバイスを製品本体の **HDMI 入力**ポートに接続してください(接続可能なデバイスは、VM0404HB で最大 4 台、VM0808HB で最大 8 台です)。
5. HDMI ディスプレイを製品本体の **HDMI 出力**ポートに接続してください(接続可能なディスプレイは、VM0404HB で最大 4 台、VM0808HB で最大 8 台です)。
6. IR レシーバーを本製品の**外付 IR レシーバー**入力ポートに接続してください。
7. 製品パッケージに同梱されている電源コードを製品本体の 3 極 AC 電源ソケットに接続したら、このコードのプラグ部分を AC 電源に接続してください。
8. VM0404HB/VM0808HB および接続機器すべてに電源を入れてください。

接続図



第3章

フロントパネルを使った設定方法

概要

VM0404HB/VM0808HB は、ローカル側からはフロントパネルの LCD/プッシュボタンおよび IR リモコンを使用して設定や操作を行うことができます。また、リモート側からは、標準的な TCP/IP 接続を通じた Web ブラウザの GUI、Telnet を使ったリモートターミナルセッション、または RS-232 シリアルコントローラーを使って、これらの操作を実現することができます。

ローカル側でのフロントパネルの操作については、本章で説明します。また、Web GUI の操作については第 4 章で、RS-232 シリアルコントロールについては第 5 章で、それぞれ説明します。

フロントパネル操作

VM0404HB/VM0808HB には、ローカル側での設定や操作が簡単に行えるように、フロントパネルに LCD ディスプレイとプッシュボタンが搭載されています。ユーザーは、これを使用して、ソースデバイスとディスプレイの組み合わせの選択、IP ポートの設定確認、シリアルポートの設定、EDID モード/CEC/出力状態の設定、セキュリティ情報の設定、およびプロファイルの呼び出し/保存というような操作ができます。

フロントパネルのプッシュボタンを操作する際には、次の点に注意してください。

- ◆ メニュー画面のオプションにアクセスするには「**MENU**」ボタンを使用してください。メニュー画面には、「IP Setting」(IP の設定)、「Serial Port Setting」(シリアルポートの設定)、「Operation Mode」(操作モード)、「Security Mode」(セキュリティモード)、「Save to a Profile」(プロファイルへの保存)といったオプションがあります (p.32「LCD メニュー構成」参照)。
- ◆ プロファイルリストに追加された接続プロファイルを切り替えるには、「**PROFILE**」ボタンを使用してください (p.54「プロファイルリスト」参照)。また、このボタンを 3 秒以上長押しすると、「Save to a Profile」(プロファイルの保存)画面が表示されます (p.41「プロファイルの保存」参照)。
- ◆ 前の画面やメイン画面に戻ったり、操作を終了したりするには「**CANCEL**」ボタンを使用してください。

- ◆ オプションを選択し、操作方法を確定させるには「ENTER」ボタンを使用してください。
- ◆ 入力ポートを選択するには「INPUT」ボタンを、出力ポートを選択するには「OUTPUT」ボタンをそれぞれ使用してください(いずれも VM0404HB は 1～4、VM0808HB は 1～8)。これらのボタンは、メニューオプションや接続プロファイルなどにも対応しています。
- ◆ VM0404HB のメニューを操作するには、「**∧**」(前へ)ボタンや「**V**」(次へ)ボタンを使用してください。
- ◆ VM0808HB のメニューを操作するには、「**7**」(前へ)ボタンや「**8**」(次へ)ボタンを使用してください。

パスワードの入力

VM0404HB/VM0808HB の起動の際に、読み込み状況をフロントパネルの LCD で確認してください。パスワード画面やLCDメニューが読み込みに失敗すると、エラーメッセージが表示されます。そのような場合には製品本体をリセットして、再試行してください。

VM0404HB/VM0808HB へのパスワード設定有効時(工場設定では無効がデフォルトです)は、LCD の読み込み処理が終了するとすぐに、パスワード画面が表示されます。そうしたら、デフォルトで設定されているパスワード(1234)を入力して、メイン画面へと操作を続けてください(p.28「メイン画面」参照)。



さらに、VM0404HB/VM0808HB のフロントパネルから操作を行うのにパスワード入力が必要であると設定されている場合は、パスワード画面が表示されます(詳細は p.39「Security Mode(セキュリティモード)」参照)。

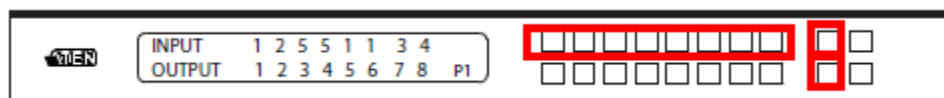
パスワードを入力するには以下の方法に従って操作してください。

1. 「**Enter Password**」(パスワード入力)欄で、カーソルが最初のアスタリスク(*)で点滅していることを確認してください。
2. フロントパネルの入力ポートプッシュボタン(VM0404HB は 1～4、VM0808HB は 1～8)を使って、4 桁のパスワードを入力してください。パスワードが正しく入力されると、メイン画面が表示されます。
3. パスワードを消去する場合は、「**Cancel**」(キャンセル)を押してください。そうすると、数字が 4 つのアスタリスクに戻り、カーソルが最初の桁に移動します。

-
- 注意:**
1. パスワードは、VM0404HB では 1111～4444 の間、VM0808HB は 1～8888 の間であれば、それぞれ任意の 4 桁の数字で設定することができます。パスワードは、デフォルトで 1234 に設定されています。
 2. 間違ったパスワードを入力すると、カーソルが最初の桁に戻って点滅し、パスワードが間違っているという内容のメッセージが画面下部に表示されます。このメッセージは新しいパスワードを入力すると消えます。
 3. パスワードの入力を有効にしている場合(p.39「セキュリティモード」参照)、LCD ディスプレイのタイムアウトは 5 分間に設定されています。
-

メイン画面

メイン画面は出力ポート(VM0404HB は 1～4、VM0808HB は 1～8)を最初から順番に表示します。各出力ポートにどのソースが表示されているかは、真上の行に表示されます。



- ◆ フロントパネルにあるプッシュボタンのラベル(VM0404HB は 1～4、VM0808HB は 1～8)は、本体リアパネルの**入力**ポートと**出力**ポートに対応しています。
- ◆ 「MENU」ボタンを使うと、LCD メニューを確認することができます(p.32「LCD メニュー構成」参照)。
- ◆ 「PROFILE」ボタンを使うと、プロファイル接続を切り替えます(p.54「プロファイルリスト」参照)。

ポート切替

メイン画面から入力→出力ポートの接続を設定して、入力ソースデバイスと出力ディスプレイを関連付けることができます。

入力ポートの選択

入力ポートを選択するには、そのポートに対応した入力ポートプッシュボタンを使ってください。



各出力ポートで、どの入力ソースを表示するかを選択するには、下記の手順に従って操作してください。

1. 任意の入力ポートプッシュボタン(VM0404HB は 1～4、VM0808HB は 1～8)を押してください。そうすると、この入力ポートに関連付けられた出力ポートの LED が点滅します。そして、利用可能な出力ポートの LED は点灯状態になります。

下図は、入力ポート 1 を押した際に、このポートが出力ポート 1 と 2 に関連付けられていることを表しています。



2. 出力ポートと入力ポートの接続を解除する場合は、対応する出力ポートプッシュボタンを押してください。

下図は、出力ポート 2 が入力ポート 1 との接続から解除されたことを表しています。



3. 別の入力ポートに切り替える場合は、この入力ポートに対応したプッシュボタンを押してください。そうすると、この入力ポートに関連付けられた出力ポートの LED が点滅します。

下図は、入力ポート 2 を押した際に、このポートが出力ポート 3 と 4 に関連付けられていることを表しています。



4. 上図の例で出力ポート 2 と入力ポート 2 を関連付けたい場合は、出力ポート 2 のプッシュボタンを押してください。そうすると、出力ポート 2 の LED が点滅し始めます (ON 状態が 0.5 秒、OFF 状態が 0.2 秒)。これで、入力ポート 2 が出力ポート 2、3、4 と接続していることが下図のように示されます。



選択された入力ポートからの信号が出力ポートへと正常に接続されると、LED は OFF になり LCD 情報が更新されます。

-
- 注意:**
1. 入力ポートを 2 回目に押すと、選択状態が解除されます。
 2. 未設定の入力ポート、および出力ポートに関連付けられていない入力ポートは、
-

LCD 画面に表示されません。

3. 「CANCEL」ボタンを 1 回目に押したときは、入力ポートを選択する操作が中止され、LCD ディスプレイにはアクティブな設定が表示されます。このボタンをもう一度押すと、すべての LED が OFF になります。
4. 非アクティブな状態が 10 秒間継続すると、すべての LED が OFF になります。

出力ポートの選択

出力ポートを選択するには、そのポートに対応した出力ポートプッシュボタンを使ってください。



各入力ソースデバイスに対して、出力ディスプレイを選択するには、下記の手順に従って操作してください。

1. 任意の出力ポートプッシュボタン (VM0404HB は 1～4、VM0808HB は 1～8) を押してください。

下図は、出力ポート 1 を押した場合の例です。出力ボタンを押すと、通常、利用可能な入力ポートが点灯します。この例では、入力ポートの LED はどれも点滅していませんので、出力ポート 1 は、どの入力ポートにも関連付けられていないことを表しています。



2. 出力ポートプッシュボタンを 2 回目に押すと、選択状態が解除され、LED も OFF になります。
3. 選択された出力ポートを入力ポートに接続するには、この出力ポートに関連付けたい入力ポートのプッシュボタンを押してください。新たに選択された入力ポートの LED が点滅 (ON 状態が 0.5 秒、OFF 状態が 0.2 秒) し、LCD 情報が更新されます。

下図は、入力ポート 2 が出力ポート 2、3、4 と関連付けられていることを表しています。



4. 出力ポート 2、3、4 を他の入力ポートに切り替えて、入力ポート 2 との接続を解除するには、新たに関連付けたい入力ポートのプッシュボタンを押してください。

下図は、入力ポート **3** が押され、このポートが出力ポート **2**、**3**、**4** に関連付けられていることを表しています。



-
- 注意:**
1. 出力ポートを 2 回目に押すと、選択状態が解除されます。
 2. 「**CANCEL**」ボタンを 1 回目に押したときは、出力ポートを選択する操作が中止され、LCD ディスプレイにはアクティブな設定が表示されます。このボタンをもう一度押すと、すべての LED が OFF になります。
 3. 非アクティブな状態が 10 秒間継続すると、すべての LED が OFF になります。
-

LCD メニュー構成

VM0404HB/VM0808HB にはフロントパネルの LCD から操作できる設定ツールが搭載されています。これは、「MENU」ボタンやフロントパネルの入力プッシュボタン (VM0404HB は 1～4、VM0808HB は 1～8) を使って操作することができます。ユーザーは、下表に示した「IP Setting」(IP ポートの設定) 画面から始まるメニューオプションを下表の順に利用することができます。

メニューページ	サブメニューページ		
IP Setting (IP の設定)	IP Address(IP アドレス) : 192.168.0.60		
	Subnet Mask(サブネットマスク) : 255.255.255.0		
	Gateway(ゲートウェイ): 192.168.0.1		
Serial Port Setting (シリアルポートの設定)	Baud Rate Setting (ボーレート設定)	9600 / 19200 / 38400 / 115200	
Operation Mode (操作モード)	EDID Mode (EDID モード)	Default / Port1 / Remix / Customized (プリセット/ポート 1/リミックス/カスタマイズ)	
	CEC	ON / NA	
	Output Status (出力状態)	Video(ビデオ)	ON / NA
Security Mode (セキュリティモード)	Mode(モード)	None(なし)	
		Password Enable(パスワード有効)	
		Lock Screen(ロック画面)	
	Change Password (パスワード変更)	Old Password (旧パスワード)	New Password (新パスワード)
Save to a Profile (プロファイルの保存)	Save to a Profile No. (プロファイル No. に保存)	01～08 (VM0404HB)	
		01～16 (VM0808HB)	
Play / Stop the Profile Schedule (プロファイルスケジュールの再生/停止)			

注意: 太字の値は、VM0404HB/VM0808HB のデフォルトプロファイルです。

メニュープッシュボタン

メイン画面と LCD メニュー画面を切り替えるには、「MENU」プッシュボタンを押してください。メニュー画面が動作していると、「MENU」プッシュボタンに内蔵された LED が点灯します。



メニュー画面では、下記の操作を行うことができます。

- ◆ IP 設定画面に遷移するには、「1」を押してください(下記の「IP 設定」参照)。
- ◆ シリアルポート設定画面に遷移するには、「2」を押してください(p.34「シリアルポートの設定」参照)。
- ◆ 次のサブメニュー画面に遷移するには、VM0404HB の場合は「8」ボタンを、VM0808HB の場合は「V」ボタンを、それぞれ押してください。
- ◆ メイン画面に戻るには、「MENU」または「CANCEL」を押してください。

IP の設定

「IP Setting」(IP 設定) 画面では、VM0404HB/VM0808HB の IP 設定が表示されます。LCD メニューにおける値は読み取り専用です。変更する場合は、ブラウザ GUI から操作を行ってください(p.70「ネットワーク」参照)。

IP アドレス/サブネットマスク

VM0404HB/VM0808HB の IP アドレスやサブネットマスクを確認するには、下記の手順に従って操作してください。

1. メイン画面で「1」を押して「IP Setting」(IP 設定)のサブメニューを表示してください。そうすると、IP アドレスとサブネットマスクが表示されます。



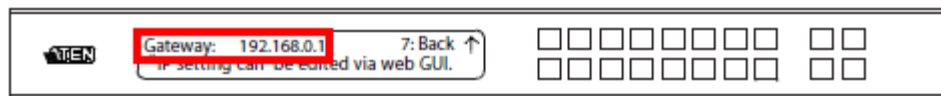
注意: VM0404HB/VM0808HB のデフォルト IP アドレスは「192.168.0.60」、デフォルトサブネットマスクは「255.255.255.0」です。

2. VM0404HB の場合は「V」ボタンを、VM0808HB の場合は「8」ボタンをそれぞれ押して、次のページに遷移してください。
3. メニュー画面に戻るには、「MENU」を押してください。
4. 保存せずに前の画面に戻る場合は、「CANCEL」を押してください。

ゲートウェイ

VM0404HB/VM0808HB のゲートウェイアドレスを参照するには、下記の操作を行ってください。

1. メイン画面から「1」を押して、「IP Setting」(IP 設定)サブメニューを表示したら、VM0404HB の場合は「V」ボタンを、VM0808HB の場合は「8」ボタンをそれぞれ押して、次の画面に遷移してください。ゲートウェイアドレスが表示されます。

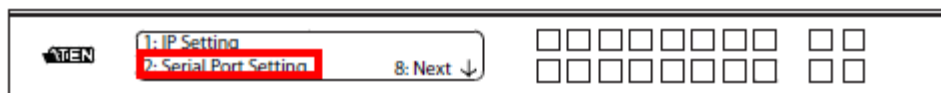


注意: VM0404HB/VM0808HB のデフォルトゲートウェイアドレスは「192.168.0.1」です。

2. 前の画面に戻るには、VM0404HB の場合は「^」ボタンを、VM0808HB の場合は「7」ボタンをそれぞれ押してください。
3. メイン画面に戻るには、「MENU」を押してください。
4. 保存せずに前の画面に戻る場合は、「CANCEL」を押してください。

シリアルポートの設定

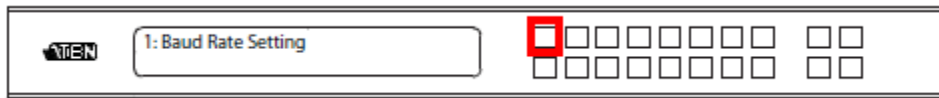
シリアルポート接続を行うために VM0404HB/VM0808HB のボーレートを設定するには、「2」ボタンを押して、メニュー画面から「Serial Port Setting」(シリアルポートの設定)を選択してください。



ボーレート

VM0404HB/VM0808HB のボーレートを設定するには、下記の操作を行ってください。

1. 「1」を押して、「Serial Port Setting」(シリアルポートの設定)サブメニューから「Baud Rate Setting」(ボーレートの設定)を選択してください。



2. 「1」～「4」のプッシュボタンを押して、ボーレートを選択してください。



ボーレートのオプションは下記のとおりです。

- ◆ 「1」:9600
- ◆ 「2」:19200
- ◆ 「3」:38400
- ◆ 「4」:115200

注意： デフォルトのボーレートは 19200 です。

3. メニュー画面に戻るには、「MENU」を押してください。
4. 保存せずに前の画面に戻る場合は、「CANCEL」を押してください。

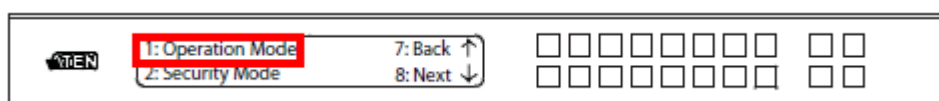
操作モード

「Operation Mode」(操作モード)メニューからは、EDID モード、CEC および出力状態を設定することができます。

- ◆ EDID 機能では、VM0404HB/VM0808HB においてモニターの解像度情報の設定をすることで、異なるモニター間でも最適な解像度を得ることができます。
- ◆ CEC 機能を使うと、相互に接続された HDMI 機器を 1 つのリモコンから操作することができます。
- ◆ 出力状態では、出力ポートのビデオ/オーディオの状態 (ON または OFF) が表示されます。また、ここでは、出力解像度の参照や設定も行えます。

メイン画面から VM0404HB/VM0808HB の操作モードを設定するには、まず、「MENU」ボタンを使用して、メニュー画面にアクセスしてください。次に、VM0404HB の場合は「V」ボタンを、VM0808HB の場合は「8」ボタンをそれぞれ押して、次の画面に遷移したら、「1」を押して

「Operation Mode」(操作モード)画面にアクセスしてください。



EDID モード

EDID モードを設定するには、下記の操作を行ってください。

1. 「Operation Mode」(操作モード)画面から、「1」を押してください。



2. 「1」～「4」のプッシュボタンを押して、EDID モードのオプションを選択してください。



EDID モードのオプションは下記のとおりです。

EDID オプション	説明
「1」:Default	本体内蔵のデフォルト EDID をすべての入力ポートに適用します。
「2」:Port 1	出力ポート 1 の EDID をすべての入力ポートに適用します。
「3」:Remix	VM0404HB/VM0808HB の電源立ち上げ時、または「Remix」オプションを選択してからすぐに「3」ボタンを押した際に、接続されている各ディスプレイの EDID を使用し、共通の解像度で表示を行います。
「4」:Customized	自動的に接続モニター/ディスプレイの EDID 設定を読み出して、入力ソースポートに保存します。保持後は、ブラウザ GUI を使用して設定を変更できます。p.75「EDID のカスタマイズ設定」を参照してください。

3. メニュー画面に戻るには、「MENU」を押してください。
4. 保存せずに前の画面に戻る場合は、「CANCEL」を押してください。

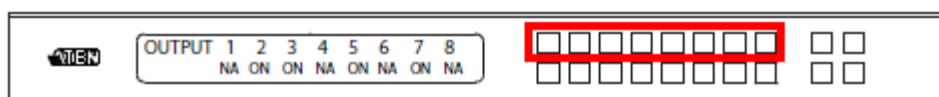
CEC

CEC を設定するには、下記の操作を行ってください。

1. 「Operation Mode」(操作モード)画面から、「2」を押してください。



2. プッシュボタン (VM0404HB は 1～4、VM0808HB は 1～8) を押して、出力ポートに対する CEC 機能を有効 (ON) または無効 (NA) に設定してください。ポートが CEC に対応していない場合は、「NA」と表示されます。



注意: デフォルトの CEC 設定は NA です。

3. メニュー画面に戻るには、「MENU」を押してください。
4. 保存せずに前の画面に戻る場合は、「CANCEL」を押してください。

出力状態

各出力ポートに対して、出力状態を設定するには、下記の操作を行ってください。

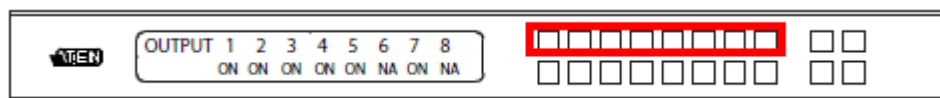
1. 「Operation Mode」(操作モード)画面で、VM0404HB の場合は「V」ボタンを、VM0808HB の場合は「8」ボタンを、それぞれ押したら、「1」ボタンを押してください。



2. 「Output Status」(出力状態)画面で「1」ボタンを押し、「Video」(ビデオ)を選択してください。



3. プッシュボタン (VM0404HB は 1～4、VM0808HB は 1～8) を押して、各出力ポートに対するビデオ/オーディオを有効 (ON) または無効 (NA) にしてください。



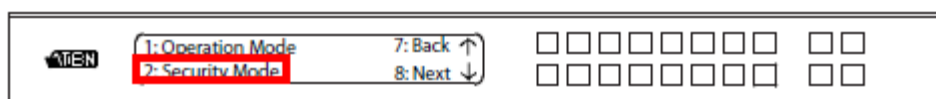
注意: デフォルトの出力状態設定は有効 (ON) です。

4. メニュー画面に戻るには、「MENU」を押してください。
5. 保存せずに前の画面に戻る場合は、「CANCEL」を押してください。

セキュリティモード

「Security Mode」(セキュリティモード)画面では、VM0404HB/VM0808HB のセキュリティに関する設定を管理することができます。セキュリティモードとして、「None」(なし)、「Password Enable」(パスワード有効)、「Lock Screen」(ロック画面)の 3 種類のモードが利用できます。また、ここでは、パスワードに関する設定もできます。

メイン画面から VM0404HB/VM0808HB のセキュリティ設定を定義するには、まず、「MENU」ボタンを押してメニュー画面にアクセスします。次に、VM0404HB の場合は「8」ボタンを、VM0808HB の場合は「V」ボタンをそれぞれ押して次の画面に遷移したら、「2」ボタンを押して、「Security Mode」(セキュリティモード)画面にアクセスしてください。



モード

1. VM0404HB/VM0808HB のセキュリティモードを変更するには、「Security Mode」(セキュリティモード)画面で「1」ボタンを押してください。



2. 「Mode」(モード)メニューで、セキュリティ設定を無効にする場合は「1」ボタンを押してください。この場合、メニューはセキュリティモードに戻ります。また、LCD ディスプレイがタイムアウトになった場合や、LCD ディスプレイの電源を切ってから再度電源を入れた場合に、ユーザーに対してパスワード入力を求めるようにするには、「2」ボタンを選択してください。この場合、メニューはホーム画面に戻ります。



注意: パスワード入力が有効になっている場合、操作がない状態が 5 分間続くとタイムアウトになります。VM0404HB/VM0808HB のデフォルトパスワードは「1234」です。

3. ロック画面を有効にするには、VM0404HB の場合は「V」ボタンを、VM0808HB の場合は「8」ボタンをそれぞれ押して次の画面に移動し、「1」ボタンを押してください。この場合、メニュー

はホーム画面に戻ります。ロック画面が有効である時にホーム画面の任意のボタンを押すと、「Please press “Menu” to start」(「Menu」を押して開始してください)というメッセージが表示されます。



4. メニュー画面に戻るには、「MENU」を押してください。
5. 保存せずに前の画面に戻る場合は、「CANCEL」を押してください。

パスワードの変更

1. 製品にアクセスするためのパスワードを変更するには、「Security Mode」(セキュリティモード)画面で「2」ボタンを押してください。



2. 「Old Password」(旧パスワード)欄の最初の文字にあるカーソルが点滅します。元のパスワードを入力してください(p.27「パスワードの入力」参照)。元のパスワードが正しく入力されると、次の手順に移ります。



注意: 間違ったパスワードを入力した場合は、エラーメッセージが表示され、カーソルが最初の文字に戻って点滅します。新しいパスワードを入力すると、このメッセージは消えます。

3. 「New Password」(新しいパスワード)欄の最初の文字にあるカーソルが点滅します。フロントパネルの数字ボタンを使用して、新しいパスワード(VM0404HB は 1111～4444、VM0808HB は 1111～8888)を入力してください。



4. 次の「Re-enter New Password」(新しいパスワードの再入力)欄に新しいパスワードを再入力してください。すると、VM0404HB/VM0808HB に新しいパスワードがすぐに適用されます。

ここで入力したパスワードが前の画面で入力したものと一致しない場合は、エラーメッセージが表示されます。その場合は、新しいパスワードを正しく入力してください。

5. メニュー画面に戻るには、「MENU」を押してください。
6. 保存せずに前の画面に戻る場合は、「CANCEL」を押してください。

プロファイルの保存

VM0404HBは最大8通り(P1～P16)のプロファイルを、また、VM0808HBは最大16通り(P1～P16)のプロファイル(表示パターン)を保存でき、後で呼び出すことができます。

プロファイル(表示パターン)は、保存時のメイン画面上に現在設定されている入力→出力ポートの接続方法に基づいて保存されます。プロファイルを呼び出すと変更はすぐに適用され、プロファイル番号がLCD画面の右下に表示されます。

ポート接続のプロファイルを保存するには、下記の手順で操作を行ってください。

1. 「MENU」ボタンを押してメニュー画面にアクセスしたら、VM0404HB の場合は「V」ボタンを、VM0808HB の場合は「8」ボタンをそれぞれ押して、次の画面に遷移してください。そうしたら、「1」ボタンを押して、「Save to a Profile」(プロファイルの保存)を選択してください。

2. プロファイル番号を設定するように促す画面が開きます。フロントパネルにある番号プッシュボタンを使用して、プロファイルとして保存する番号を選択してください。



VM0404HB: (LCD を使用してプロファイルを保存する際の)オプションは「P1」～「P8」です。

- ◆ 入力ポートプッシュボタン「1」～「4」はそれぞれ、プロファイル番号「P1」～「P4」に対応しています。
- ◆ 出力ポートプッシュボタン「1」～「4」はそれぞれ、プロファイル番号「P5」～「P8」に対応しています。

VM0808HB: (LCD を使用してプロファイルを保存する際の)オプションは「P1」～「P16」です。

- ◆ 入力ポートプッシュボタン「1」～「8」はそれぞれ、プロファイル番号「P1」～「P8」に対応しています。
- ◆ 出力ポートプッシュボタン「1」～「8」はそれぞれ、プロファイル番号「P9」～「P16」に対応しています。

3. 「ENTER」ボタンを押して、プロファイル(表示パターン)を保存してください。LCD にはプロファイルが保存された旨を表すメッセージが表示されます。
4. メニュー画面に戻るには、「MENU」を押してください。
5. 保存せずに前の画面に戻る場合は、「CANCEL」を押してください。

注意: 「Save to a Profile」(プロファイルの保存)画面は「PROFILE」ボタンを3 秒間以上長押しすることで、簡単にアクセスすることができます。

プロファイルスケジュールの再生/停止

入力ポートの「2」ボタンを押すと、アクティブなプロファイルスケジュールを再生または停止します。スケジュールの内容を変更する場合は、ブラウザ GUI から操作を行ってください(p.60「プロファイルスケジュール」参照)。



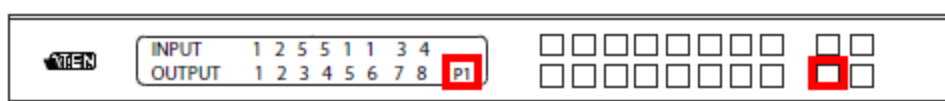
あらかじめ定義されているプロファイルスケジュールがない場合は、エラーメッセージが表示されます。



プロフィールプッシュボタン

「PROFILE」(プロフィール)プッシュボタンを使用すると、プロフィールリストに保存または追加された設定へと簡単に切り替えることができます(p.54「プロフィールリスト」参照)。

プロフィールの使用中には、LCD ディスプレイの右下にプロフィール番号(VM0404HB の場合は P1～P8、VM0808HB の場合は P1～P16)が表示されます。



「PROFILE」(プロフィール)プッシュボタンの機能は下記のとおりです。

- ◆ 「PROFILE」(プロフィール)プッシュボタンを押すと、利用可能なプロフィール番号が点灯し、アクティブなプロフィール番号が点滅します。入力/出力プッシュボタンを使用して、特定のプロフィール(VM0404HB の場合は P1～P8、VM0808HB の場合は P1～P16)に切り替えることもできます。
 - VM0404HB の場合、**入力**ポートプッシュボタン「1」～「4」は、プロフィール番号「P1」～「P4」に対応しています。また、VM0808HB の場合、**入力**ポートプッシュボタン「1」～「8」は、プロフィール番号「P1」～「P8」に対応しています。
 - VM0404HB の場合、**出力**ポートプッシュボタン「1」～「4」は、プロフィール番号「P5」～「P8」に対応しています(出力ポート番号「1」はプロフィール番号 5、出力ポート番号「2」はプロフィール番号 6・・・出力ポート番号「4」はプロフィール番号 8 といった要領で対応しています)。また、VM0808HB の場合、**出力**ポートプッシュボタン「1」～「8」は、プロフィール番号「P9」～「P16」に対応しています(出力ポート番号「1」はプロフィール番号 9、出力ポート番号「2」はプロフィール番号 10・・・出力ポート番号「8」はプロフィール番号 16 といった要領で対応しています)。

選択したプッシュボタンの LED が点滅し、VM0404HB/VM0808HB は選択中のプロフィールによって定義されているポート接続をすぐに適用します。この LED が点灯状態になると、プロフィールが有効であることを表しています。

- ◆ 「PROFILE」(プロフィール)プッシュボタンを押した後、同じボタンを再び押すと、プロフィールリストではなく、プロフィールスケジュールにおける次のプロフィールに切り替わります(p.60 参照)。この機能はスケジュールが再生中の間だけ利用可能になります。
- ◆ 終了するには、「CANCEL」ボタンを押してください。

注意: VM0404HB/VM0808HB にプロファイルが設定されていない場合に、「PROFILE」(プロファイル) ボタンを押すと、「No Available Profile」(利用可能なプロファイルがありません) というエラーメッセージが表示されます。

ポート接続の**プロファイル**内容は、フロントパネルのプッシュボタン(p.28 ポート切替 参照)、またはブラウザ GUI の「Connections」(接続) 画面 (p.52「接続表」参照)を使用して編集できます。さらに、プロファイルリストはブラウザ GUI のプロファイル画面を使用して設定できます (p.54「プロファイルリスト」参照)。

IR リモコンの操作

VM0404HB/VM0808HB に同梱の IR リモコン (p.20 参照) を使用して、下記の操作を行うことができます。

- ◆ 任意の出力ディスプレイに対する入力ソースの切替
- ◆ 出力ディスプレイの信号出力を個別に ON/OFF
- ◆ 出力ディスプレイすべての信号出力を同時に ON/OFF

リモコン機能を使用する前に、まず IR 外付レシーバーを VM0404HB/VM0808HB のリアパネルにあるポートに接続して、IR 信号が届く場所にレシーバーを設置してください (p.20「IR リモコン」参照)。

出力ディスプレイに対する入力ソースの変更

リモコンを使用して出力ディスプレイに対する入力ソースを変更するには、下記の手順で操作を行ってください。

1. 変更したい出力ポート番号 (VM0404HB は 1～4、VM0808HB は 1～8) を押してください。
2. 2 秒以内*に、出力ポートに表示する入力ポート番号 (VM0404HB は 1～4、VM0808HB は 1～8) を押してください。
3. 他にポートを変更するには、1～2 の手順を繰り返してください。

* 入力ポート番号を変更するには、出力ポート番号が押されてから 2 秒以内に入力ポート番号を押さなければなりません。

出力ディスプレイの個別出力 ON/OFF

リモコンを使用して出力ディスプレイへの映像出力を個別に ON/OFF するには、下記の手順で操作を行ってください。

1. ON または OFF にしたい出力ポート番号 (VM0404HB は 1～4、VM0808HB は 1～8) を押してください。
2. 2 秒以内*に「ON」または「OFF」ボタンを押してください。
3. ON または OFF に戻すには、手順 1～2 を繰り返してください。

-
- * 個別に ON/OFF を行うには、出力ポート番号が押されてから 2 秒以内に「ON」または「OFF」ボタンを押さなければなりません。さもないと、ディスプレイの出力はそれぞれ ON または OFF になったままとなります。
-

出力ディスプレイの一括出力 ON/OFF

リモコンを使用して出力ディスプレイすべての出力を同時に ON または OFF にするには、下記の手順で操作を行ってください。

1. 「ON」または「OFF」ボタンを押してください。*
 2. 出力ポートすべての状態を ON または OFF に同時に戻すには、手順 1 を繰り返してください。
 - * 「ON」または「OFF」ボタンを使用すると、現在の出力ポート個々の状態 (ON/OFF)にかかわらず、すべての出力ポートを同じ状態にします。
-

第4章

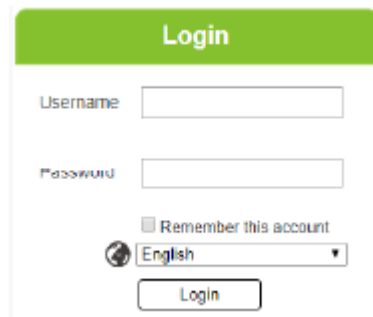
ブラウザ操作

概要

VM0404HB/VM0808HB はブラウザベースの GUI を使用し、標準的な TCP/IP 接続を通じて設定が行えます。VM0404HB/VM0808HB は LAN や WAN (例: イントラネット) 接続ができるところなら、どこからでもアクセスすることができるので、リモートオペレーターはそこから任意の Web ブラウザを使用してログインすることができます。安全性はパスワード保護とユーザー設定可能なタイムアウトによって確保されています。VM0404HB/VM0808HB では、様々な操作上の権限を持った 3 段階のリモートユーザーに対応しています。また、最大 16 名のユーザーが GUI に同時ログインできます。詳細は次項を参照してください。

ログイン

ブラウザベースの GUI にアクセスするには、本製品に対応したブラウザのアドレスバーに VM0404HB/VM0808HB の IP アドレスを入力してください。「セキュリティの警告」ダイアログが表示されることがありますが、本製品の証明書は安全なものですので、これを許可してください。そうすると、初期画面が表示されます。



- ◆ VM0404HB/VM0808HB のデフォルト IP アドレスは **http://192.168.0.60** です。
- ◆ デフォルトアカウントのユーザーネームは「**administrator**」、パスワードは「**password**」です。
- ◆ ユーザーネームとパスワードを入力したら、「**Login**」(ログイン)をクリックしてログインしてください。
- ◆ 同一のユーザーが同時にログインすることはできません。
- ◆ ドロップダウンメニューを使用して、GUI で使用する言語を選択してください。

- 選択可能な言語: 日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、簡体字中国語、繁体字中国語

注意: VM0404HB/VM0808HB のユーザーネームは小文字にのみ対応しています。

メイン画面

VM0404HB/VM0808HB の GUI メイン画面にアクセスすると、「**Connection Table**」(接続表)が表示されます。この画面では、入力→出力の接続を設定して、プロファイル(表示パターン)を作成します。この画面は、メニューバー、「Connection Table」(接続表)、「Profile List」(プロファイルリスト)および「Profile Scheduling」(プロファイルスケジュール)の 4 つの部分から構成されています。



メニューバー

メニューバーには、製品型番、「Import Profiles」(プロファイルのインポート)や「Export Profiles」(プロファイルのエクスポート)の各リンク、「Settings」(設定)アイコンおよび「Logout」(ログアウト)ボタンが表示されています。

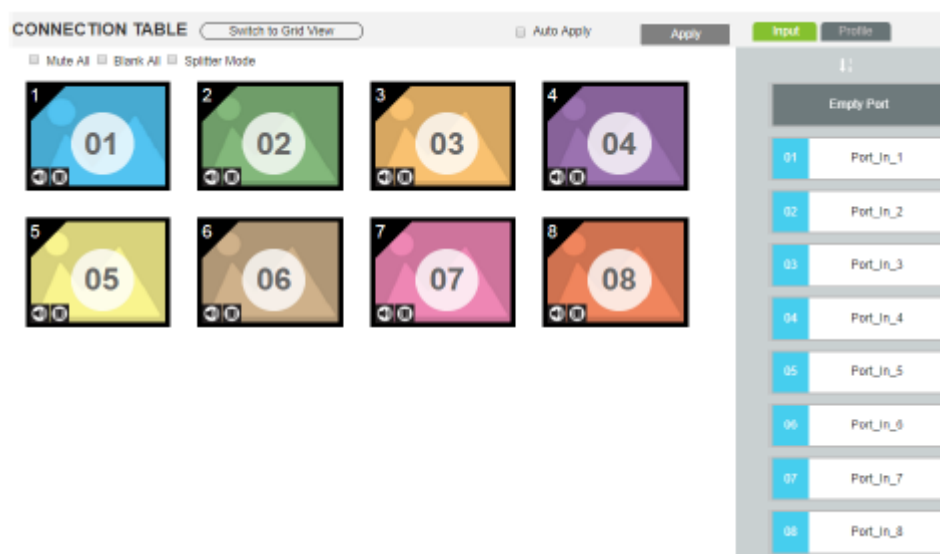


- ◆ 製品型番(VM0404HB または VM0808HB)の部分をクリックすると、型番の後に表示する製品説明を追加することができます。

- ◆ 設定ファイルをインポートしたい場合は「**Import Profiles**」(プロファイルのインポート)を、また、設定内容をファイルにエクスポートしたい場合は「**Export Profiles**」(プロファイルのエクスポート)を、それぞれクリックしてください(p.59 参照)。
- ◆ 「**Settings**」(設定)  または「**Profile List**」(プロファイルリスト)  をクリックすると、システム設定を行うか、「**Connection Table**」(接続表)画面に戻ります (p.63 参照)。
- ◆ 「**Logout**」(ログアウト)をクリックすると、GUI からログアウトします。

接続表

「Connection Table」(接続表)には、入力→出力の接続が表示されます。各アイコンは、出力ポートと接続ディスプレイを表しています。大きく書かれた番号は、そのディスプレイに対して選択された**入力**ポートです。そして、小さい文字の番号(左上に表示)は、そのディスプレイに対する**出力**ポートです。



- ◆ ビデオ入力を選択するには、右側の列にある入力ポートメニューから対象となる入力のアイコンをクリックして選択するか、右側の列から入力ポートをドラッグしアイコンの上にドロップしてください。
- ◆ ビデオ出力を空にするには、アイコンをクリックして **Empty Port** 「Empty Port」(空のポート)をクリックするか、この **Empty Port** 「Empty Port」(空のポート)をドラッグしてアイコンの上にドロップしてください。
- ◆ ☐ **Mute All** 「Mute All」(すべてミュート) の項目にチェックを入れると、すべての出力ポートに対するオーディオを OFF にします。
- ◆ ☐ **Blank All** 「Blank All」(すべてブランク) の項目にチェックを入れると、すべての出力ポートに対するビデオを OFF にします。

- ◆  **Splitter Mode** 「Splitter Mode」(分配器モード) の項目にチェックを入れると、すべてのアイコンが選択状態になります。そうしてから、入力ポートをクリックすると、その入力ソースをすべての出力ポートに対して適用します。
- ◆  **Auto Apply** 「Auto Apply」(自動適用) の項目にチェックを入れると、接続表に対して行われた設定変更が自動的に適用されます。

注意: 接続表がプロファイルからインポートされ、「Auto Apply」(自動適用) が有効になっている際に設定変更が行われると、ユーザーはシステムから次の操作を求められます。

- 「Yes」(はい)を選択することで、プロファイルと現在の接続表の両方に対して変更内容を保存する。

または

- 「No」(いいえ)を選択することで、接続表に対してのみ変更内容を保存する。

(詳細については、p.54「プロファイルリスト」を参照)

-
- ◆ 「Apply」(適用)をクリックすると、接続表に対して設定内容を保存します。

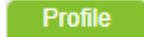
注意: 接続表がプロファイルからインポートされている場合に「Apply」(適用)をクリックすると、ユーザーはシステムから次の操作を求められます。

- 「Yes」(はい)を選択することで、プロファイルと現在の接続表の両方に対して変更内容を保存する。

または

- 「No」(いいえ)を選択することで、接続表に対してのみ変更内容を保存する。

(詳細については、p.54「プロファイルリスト」を参照)

-
- ◆  **Profile** 「Profile」(プロファイル)をクリックすると、プロファイルリストを参照することができます(p.54「プロファイルリスト」参照)。

- ◆  **Input** 「Input」(入力)をクリックすると、接続表に戻ります。

- ◆  **Switch to Grid View** 「Switch to Grid View」(グリッド表示に切替)をクリックすると、入力→出力接続を別の方法で設定します(p.55「グリッド表示」参照)。

出力アイコン



アイコン	説明
出力アイコン	この出力アイコンをクリックすると、グリーンで表示され、入力ポートメニューからビデオ入力を選択すると、入力→出力接続を設定することができます。 大きい数字は、このディスプレイに対して選択されたビデオ入力ポートを表しています。 左上の小さい数字は、このディスプレイの出力ポートを表しています。
ミュート/ビデオ	スピーカーのアイコンをクリックすると、オーディオのミュートを ON/OFF にします。 ビデオアイコンをクリックすると、ビデオ表示を ON/OFF にします。

グリッド表示

「Grid View」(グリッド表示)画面では、格子状の表を使用して、入力ポートと出力ポートの接続を設定できます。

		Output Port							
		o01	o02	o03	o04	o05	o06	o07	o08
Input Port	i01								
	i02								
	i03								
	i04								
	i05								
	i06								
	i07								
	i08								

- ◆ 入力ポートと出力ポートの接続を設定するには、出力ポート番号のディスプレイに表示させたい入力ポート番号とその出力ポート番号が交わるボックスをクリックしてください。デフォルトでは、ポート i01 は o01 に、i02 は o02 にといった要領で対応しています。
- ◆ 出力ポートへのビデオ出力を無効にしたい場合は、出力ポートのボックスから**チェックを外してください**。表の中のボックスが黄色からグレーに変わります。
- ◆ すべての出力ポートを特定の入力ポートに並べる場合は、その入力ポートのラジオボタンを**選択**してください。
- ◆ 設定内容を接続表に保存するには、「Apply」(適用)をクリックしてください。

注意: 接続表がプロファイルからインポートされ、「Auto Apply」(自動適用)が有効になっている際に設定変更が行われると、ユーザーはシステムから次の操作を求められます。

- 「Yes」(はい)を選択することで、プロファイルと現在の接続表の両方に対して変更内容を保存する。

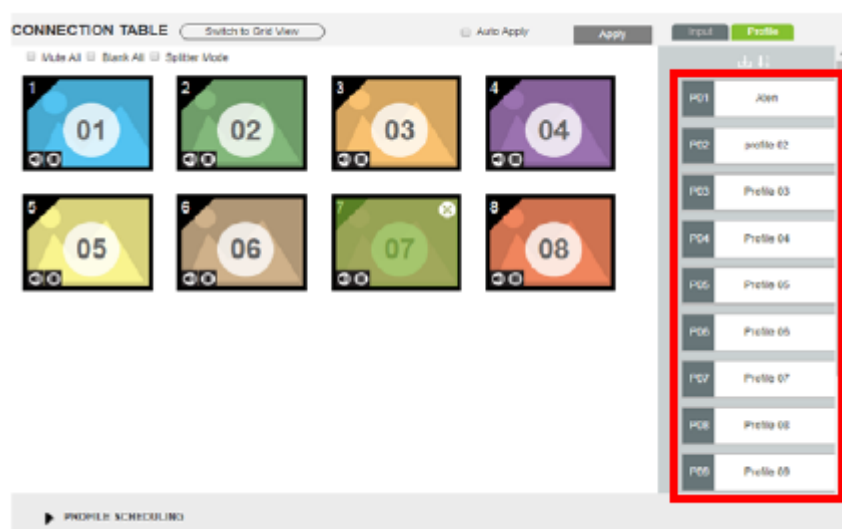
または

- 「No」(いいえ)を選択することで、接続表に対してのみ変更内容を保存する。

(詳細については、p.54「プロファイルリスト」を参照)

プロフィールリスト

「Profile List」(プロフィールリスト)では、使用プロフィールを作成することで、入力→出力ポートの接続方法を設定することができます。ローカル側からは本製品のフロントパネルにあるプッシュボタンを使用して(p.43「プロフィールスケジュールの再生/停止」参照)、また、リモート側からは Web GUIを使用して、それぞれプロフィールを保存し、呼び出すことができます。なお、VM0404HB は最大 8 通り、また、VM0808HB は最大 16 通りのプロフィールをそれぞれ保存できます。



プロフィールの追加/再生

プロフィール(表示パターン)を設定するには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. 接続表で入力→出力接続を設定してください(p.52 参照)。
2.  アイコンをクリックして、**プロフィール**を接続表に保存してください。そうすると、プロフィール名を保存するよう求められます。

Save a New Profile

Please name it

3. 新しいプロファイルが作成されると、プロファイルリストに表示されます。

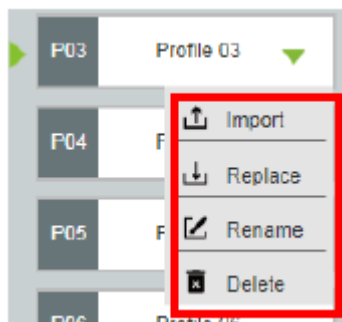


4. プロファイルリストでプロファイルをクリックすると、ドロップダウンメニューが展開します。そうしたら、 **Import** 「Import」(インポート)をクリックして、設定内容を接続表にインポートし、

 **Apply** 「Apply」(適用)をクリックして接続を開始してください。

プロファイルリストのオプション

プロファイルリストからプロファイルをクリックすると、オプション付きのドロップダウンメニューが展開します。



オプション	説明
Import (インポート)	この項目をクリックすると、設定内容を接続表へとインポートします。また、その後で「Apply」(適用)をクリックすると、その接続を開始します。
Replace (置き換え)	この項目をクリックすると、編集済みの接続表を、インポート済みのプロファイルに保存します。
Rename (名前の変更)	この項目をクリックすると、プロファイルの名前を変更します。
Delete (削除)	この項目をクリックすると、プロファイルリストからプロファイルを削除します。
Apply (Apply 適用)	この項目をクリックすると、編集済みの設定内容を、接続表やインポート済みのプロファイルに保存します。ポップアップダイアログで「Yes」(はい)を選択すると、プロファイルと現在の接続表の両方に対して変更内容を保存します。また、「No」(いいえ)を選択すると、接続表に対してのみ変更内容を保存します。

プロフィールのインポート/エクスポート

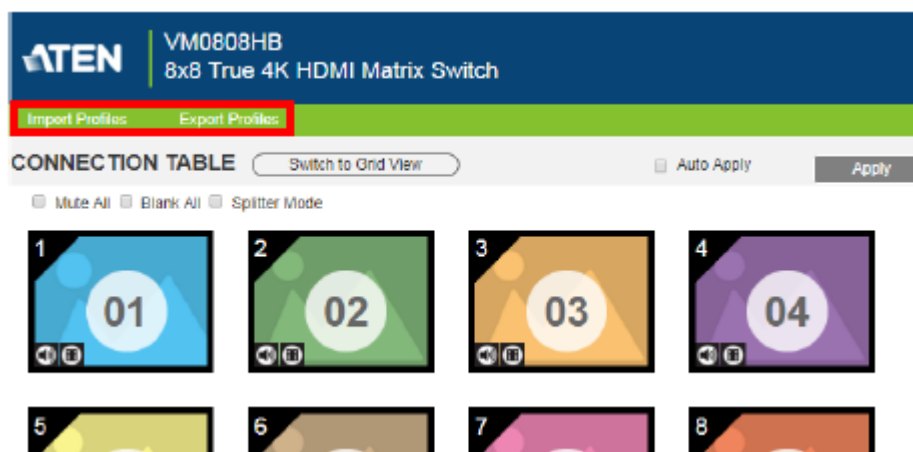
VM0404HB/VM0808HB の接続プロフィールをエクスポートするには、下記の手順に従って操作してください。

1. **Export Profiles** 「Export Profiles」(プロフィールのエクスポート)をクリックしてください。そうすると、設定ファイルのダウンロードを開始します。

接続プロフィールを VM0404HB/VM0808HB にインポートするには、下記の手順に従って操作してください。

1. **Import Profiles** 「Import Profiles」(プロフィールのインポート)をクリックしてください。
2. 設定ファイルを参照し、インポートするファイルを選択したら「**Open**」(開く)をクリックしてください。

注意: 接続プロフィールのデータベースをインポートすると、現在のプロフィールを上書きします。



プロファイルスケジュール

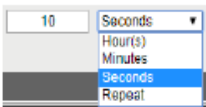
「Profile Scheduling」(プロファイルスケジュール)は、接続表の下側にあります。ここでは、ある一定の時間間隔でプロファイル(表示パターン)を再生する順番を設定することができます。



オプション	説明
	プロファイルのスケジュールを修正します。
	プロファイルのスケジュールを再生します。
	プロファイルスケジュールの再生中は、再生画面に、この「On Sequence」(連続再生)ボックスが表示されます。
	プロファイルのスケジュールを停止します。
	次のプロファイル、または前のプロファイルに移動します。

「Edit」(修正)を選択すると、下図のようなオプションが表示されます。



オプション	説明
	再生スケジュールに追加するプロファイルをクリックしてください。再生は左から右の順で行われます。次に、各プロファイルについて、再生時間を設定してください。 注意: VM0404HB/VM0808HB は時計機能を内蔵していないため、特定の時間に合わせて切替を行いたい場合は、シリアル通信経由で制御を行ってください。
	プロファイルをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。 ◆ スケジュールの開始点となるプロファイルには「Startup」(起動)を選択してください。 ◆ プロファイルを他のものに置き換える場合は、「Replace」(置換)をクリックしてください。 ◆ スケジュールからプロファイルを削除するには、「Remove」をクリックしてください。 ◆ スケジュール内の再生順序を変更する場合は「<」「>」を使用してください。
	プロファイル(表示パターン)の再生期間(時間、分、秒)をドロップダウンメニューから選択し、再生時間を入力してください。再生時間を過ぎると、次のプロファイルに切り替わります。 再生スケジュールを中止し、そのプロファイルの再生のみを行うには、「Repeat」(繰返し)を選択してください。「Repeat」(繰返し)を使用しない場合は、最初のプロファイルに戻ります。「Repeat」(繰返し)を使用する場合は、再生時間を設定することができません。また、この場合、次のプロファイルも再生されません。

(表は次のページに続きます)

オプション	説明
Save (保存)	表示されているとおりに再生スケジュールを保存するには、「 Save 」(保存)をクリックしてください。保存すると、この画面は終了します。
Cancel (キャンセル)	スケジュールの修正を中止し、プロフィールスケジュール画面に戻るには、「 Cancel 」(キャンセル)をクリックしてください。

システム設定

メイン画面の「Settings」(設定)リンクをクリックすると、「General」(一般)画面が開きます。

ATEN VM0008HB 8x8 True 4K HDMI Matrix Switch

Profile List

General User Account Port Name Network EDID Maintenance

Serial Settings

Baud Rate: 115200

Device Info

Device	Model Name	F/W Version
Video Matrix	VM0008HB	V1.0.072

Other

Language: English

Save Cancel

- ◆ 「General」(一般)画面では、ボーレートや言語を定義したり、デバイスに関する情報を参照したりすることができます。
- ◆ 「User Account」(ユーザーアカウント)画面では、ユーザーアカウントの追加と編集ができます。
- ◆ 「Port Name」(ポートネーム)画面では、入力ポートおよび出力ポートのそれぞれに名前を付けることができます。
- ◆ 「Network」(ネットワーク)画面では、ネットワークの設定が行えます。
- ◆ 「EDID」画面では、EDID モードが設定できます。
- ◆ 「Maintenance」(メンテナンス)画面では、製品本体のファームウェアをアップグレードしたり、システム設定ファイルのバックアップやリストアを行ったりすることができます。
- ◆ 「HDCP」画面では、HDCP キー設定の参照や定義が行えます。
- ◆ 「CEC」画面では、ポートの CEC 設定を管理することができます。
- ◆ メイン画面に戻るには、「Profile List」(プロファイルリスト)をクリックしてください。

一般

「General」(一般)画面は、「Serial Settings」(シリアル設定)、「Device Info」(デバイス情報)、「Other」(その他)の、3つのセクションから構成されています。

The screenshot shows the 'General' settings page. It is divided into three sections: 'Serial Settings', 'Device Info', and 'Other'.

- Serial Settings:** Contains a 'Baud Rate' dropdown menu set to '115200'.
- Device Info:** Contains a table with columns 'Device', 'Model Name', and 'F/W Version'. The first row is 'Video Matrix', 'VM0808HB', and 'V1.0.072'. Below this is a sub-table for ports:

Port	Status
Port1	—
Port2	✗
Port3	✗
Port4	✗
Port5	✗
Port6	✗
Port7	✗
Port8	✗
- Other:** Contains a 'Language' dropdown menu set to 'English'.

シリアル設定

「Baud Rate」(ボーレート)のドロップダウンメニューから、シリアルポートの設定を選択してください。設定できる値は、9600、19200、38400、115200 です。

デバイス情報

このセクションには、デバイスの種類、製品型番、ファームウェアバージョン、ポートの状態が一覧表示されます。

The screenshot shows the 'Device Info' section. It contains a table with columns 'Device', 'Model Name', and 'F/W Version'. The first row is 'Video Matrix', 'VM0808HB', and 'V1.0.072'. Below this is a sub-table for ports:

Port	Status
Port1	—
Port2	✗
Port3	✗

その他

ユーザーインターフェースで使用する言語を「**Language**」(言語)ドロップダウンメニューから選択してください。設定できる言語は、下記のとおりです。

日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、中国語(簡体字/繁体字)

ユーザーアカウント

「User Account」(ユーザーアカウント)画面ではユーザー情報の追加・編集・削除および、VM0404HB/VM0808HB の GUI にアクセスするためのパスワードの変更を行うことができます。

注意: これはアドミニストレーターに限定された機能です。

User Name	Level	Description
administrator	Administrator	Default User
user_1	Basic User	User Account

+ Add account

Edit

- ◆ **+ Add account** (+ アカウントの追加) - このボタンをクリックすると、新しいユーザーアカウントを追加します。VM0404HB/VM0808HB は最大 32 ユーザーの作成および最大 16 ユーザーによる同時ログインに対応しています (詳細は p.67「アカウントの追加」参照)。
- ◆ **Edit** (編集) - このボタンをクリックすると、ユーザー情報を変更します。アドミニストレーターは、このオプションで各アカウントを編集することができます。

User Name	Level	Description
Edit 11111	Administrator	11111
Edit 12345	Administrator	
Edit administrator	Administrator	Default_user

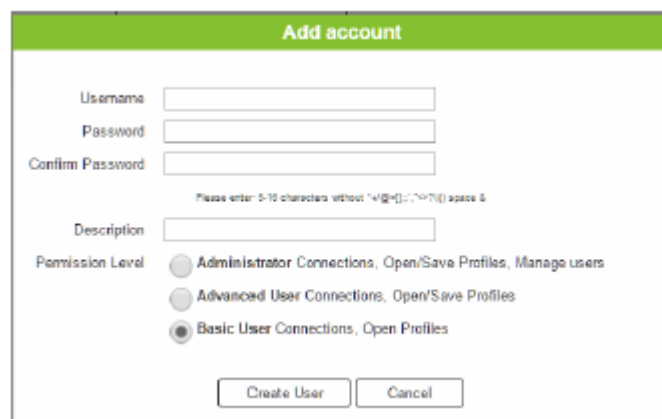
- **Edit** (編集) - このリンクをクリックすると、ユーザーアカウント名の変更、パスワードの設定、説明情報の追記、ユーザーの操作権限レベルの設定 (詳細は p.66 参照)を行うことができます。

-  - ユーザーアカウントを削除します。

- ◆ デフォルトアカウントのユーザーネームは「administrator」、パスワードは「password」です。

アカウントの追加

VM0404HB/VM0808HB の GUI にアクセスする際のユーザーアカウントの作成、ユーザーパスワードの設定、詳細情報の追記、ユーザーの操作権限 (p.66 参照) の設定を行うには、「Add Account/Edit」(アカウントの追加/編集) ボタンを使用してください。



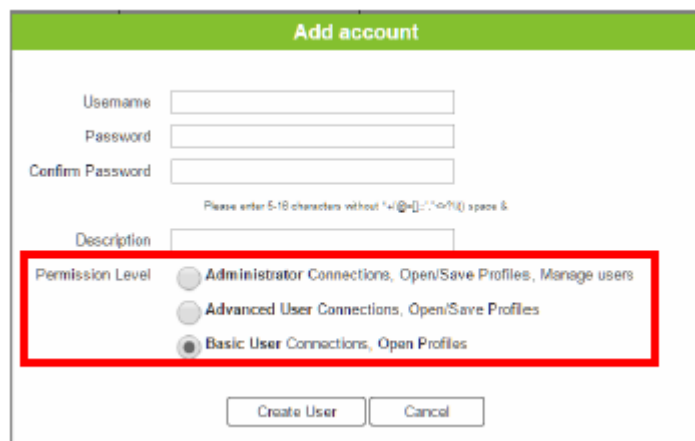
- ◆ ユーザーネームを入力するか、または既存のユーザーネームを修正してください。
- ◆ パスワードを入力し、確認用パスワード欄にこのパスワードをもう一度入力してください。

注意: ユーザーネームとパスワードは多言語文字に対応しています。半角英数字 5～16 文字を使用してください。ただし、: ; = [] + = / ? ¥ | を除きます。ユーザーネームは小文字にのみ対応しています。

- ◆ ユーザーの詳細説明を追加または修正してください。
- ◆ ユーザーに付与したい操作権限を選択してください (p.66 参照)。
- ◆ データを保存するには「**Create User**」(ユーザーの作成) をクリックしてください。
- ◆ 変更を中止して終了する場合は「**Cancel**」(キャンセル) をクリックしてください。
- ◆ ユーザーが VM0404HB/VM0808HB の GUI にログインしている場合、ユーザー設定を編集することはできず、この画面の入力欄の色がグレーに変わります。

操作権限

ユーザーの新規追加/編集画面の下側にある「Permission Level」(操作権限レベル) セクションを使用して、ユーザーの操作権限を設定することができます



The screenshot shows a web form titled "Add account" with a green header. The form contains several input fields: "Username", "Password", "Confirm Password", and "Description". Below these is a "Permission Level" section, which is highlighted with a red rectangular box. This section contains three radio button options: "Administrator Connections, Open/Save Profiles, Manage users", "Advanced User Connections, Open/Save Profiles", and "Basic User Connections, Open Profiles". The "Basic User" option is selected. At the bottom of the form are two buttons: "Create User" and "Cancel".

利用可能な操作権限は 3 種類あります。

- ◆ **Administrator** (アドミニストレーター) – このレベルはユーザー管理に加え、VM0404HB/VM0808HB のアクセスと操作に関するすべての権限を持っています。
- ◆ **Advanced User** (上級ユーザー) – このレベルは VM0404HB/VM0808HB のアクセスと操作に関するすべての権限を持っていますが、ユーザー管理の権限は持っていません。
- ◆ **Basic User** (基本ユーザー) – このレベルは基本的な機能 (接続および接続プロファイルの呼び出し) に関する権限しか持っていません。

ポートネーム

「Port Name」(ポートネーム)の画面では、入出力ポートを識別しやすくするために名前を付けることができます。

Output Port	
Port1	01_Port_Out_1
Port2	02_Port_Out_2
Port3	03_Port_Out_3
Port4	04_Port_Out_4
Port5	05_Port_Out_5
Port6	06_Port_Out_6
Port7	07_Port_Out_7
Port8	08_Port_Out_8

Input Port	
Port1	01_Port_In_1
Port2	02_Port_In_2
Port3	03_Port_In_3
Port4	04_Port_In_4
Port5	05_Port_In_5
Port6	06_Port_In_6
Port7	07_Port_In_7
Port8	08_Port_In_8

Save Cancel

- ◆ 入力/出力ポートに名前を付けるには、対応する欄に 16 文字までの名前を入力してください。ユーザーネームとパスワードは多言語文字に対応しています。半角英数字 5～16 文字を使用してください(ただし、: ; = [] + = / ? ¥ | を除く)。各欄の編集が終わったら、「**Save**」(保存)をクリックしてください。
- ◆ 入力可能な言語は次のとおりです。
日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、中国語(簡体字/繁体字)
- ◆ 入力/出力ポートの名前を変更するには、対象となる欄の名前を編集した後、「**Save**」(保存)をクリックしてください。
- ◆ 入力ポートと出力ポートには、同じ名前を設定することができます。
- ◆ 1 つ上の階層や初期画面に戻る場合、また、操作を終了する場合は、「**Cancel**」(キャンセル)をクリックしてください。

注意: VM0404HB は 4 ポートモデルであるため、入力ポート、出力ポートともに、入力欄が 4 箇所しかありません。

ネットワーク

「Network」(ネットワーク)画面では、Web GUI を使って VM0404HB/VM0808HB に接続するための IP、Web アクセス時のタイムアウト、および Telnet の設定を行うことができます。

DHCP	☒ Enable ☐ Disable
IP Address	
Subnet Mask	
Default Gateway	
Website Timeout	5 min ▼
MAC Address	00:10:74:AD:11:22
Telnet	☒ Enable ☐ Disable
Save Reset	

DHCPを**有効**にすると、DHCP サーバーが VM0404HB/VM0808HB に IP アドレスを割り当てます。固定 IP アドレスを使用する場合は、「**Disable**」(**無効**)を選択してください。

「**Reset**」(リセット)をクリックすると、下記のデフォルト設定を使用します。

- ◆ IP アドレス - 192.168.0.60
- ◆ サブネットマスク - 255.255.255.0
- ◆ デフォルトゲートウェイ - 192.168.0.1
- ◆ Web サイトタイムアウト* - 5 分
- ◆ Telnet - 有効

値の入力を終えたら、「**Save**」(保存)をクリックしてください。保存には数秒かかることがあります。画面が更新されると、入力した IP アドレスへ自動的にリダイレクトします。

* このオプションは VM0404HB/VM0808HB にログインした後、Web 接続中に操作が行われない時間がどのくらい続くのかを管理します。N/A を設定すると、このオプションを無効にします。この他に設定可能な値は、5 分、10 分、30 分、60 分です。どの変更もすぐに有効となります。

EDID 設定

「EDID Settings」(EDID 設定)画面では、VM0404HB/VM0808HB がディスプレイに対して最適な解像度を適用できるように、EDID モードを参照したり選択したりすることができます。

EDID Mode

● ATEN Default

● Port1 Mode

● Remix

● Customized

Apply

Port EDID Status

Port 1 ATEN Default

Port 2 ATEN Default

Port 3 ATEN Default

Port 4 ATEN Default

Port 5 ATEN Default

Port 6 ATEN Default

Port 7 ATEN Default

Port 8 ATEN Default

EDID & CEA Description

EDID

1. Vendor/Product Identification

2. EDID Structure/Revision

3. Basic Display/Feature

4. Color Characteristics

5. Established Timings

6. Standard Timings

7. Detail Timing/Display Description 1

8. Detail Timing/Display Description 2

9. Monitor Description

10. Monitor Description

Model ID: 0x001

Manufacturer ID: ATN

Serial Number: 0x0000275F

Manufacture Date: 2018 Week 0

Week of Manufacture: 8

Year of Manufacture: 2018

CEA

1. Display Support

2. Video Data

3. Audio Data

4. Speaker Allocation

5. Vendor Specific Data

Tips

ATEN Default Mode

All ports' EDID are the same as the hardware default EDID.

Port1 Mode

All ports' EDID are the same as Port1 EDID.

Remix

All ports' EDID use the lowest resolution display.

Customized Mode

The EDID Wizard is only enabled if the EDID is in "Customized Mode".

注意: EDID モードは、フロントパネルにあるプッシュボタンからも選択することができます (p.36「EDID モード」参照)。

EDID は、ディスプレイの基本情報を含むデータフォーマットで、ビデオソース/システムとの通信に使用されます。

EDID モード

画面の左側にある「EDID Mode」(EDID モード)ラジオボタンを使用すると、あらかじめ設定されている EDID モードを選択できます。

EDID Mode

- ☒ ATEN Default
- ☐ Port1 Mode
- ☐ Remix
- ☐ Customized

Apply

Port EDID Status

- Port 1: ATEN Default
- Port 2: ATEN Default
- Port 3: ATEN Default
- Port 4: ATEN Default
- Port 5: ATEN Default
- Port 6: ATEN Default
- Port 7: ATEN Default
- Port 8: ATEN Default

EDID & CEA Description

EDID

- 1. Vendor/Product Identification
- 2. EDID Structure/Revision
- 3. Basic Display/Feature
- 4. Color Characteristics
- 5. Established Timings
- 6. Standard Timings
- 7. Detail Timing/Display Description 1
- 8. Detail Timing/Display Description 2
- 9. Monitor Description
- 10. Monitor Description

CEA

- 1. Display Support
- 2. Video Data
- 3. Audio Data
- 4. Speaker Allocation
- 5. Vendor Specific Data

Tips

- ATEN Default Mode**
All ports' EDID are the same as the hardware default EDID.
- Port1 Mode**
All ports' EDID are the same as Port1 EDID.
- Remix**
All ports' EDID use the lowest resolution display.
- Customized Mode**
The EDID Wizard is only enabled if the EDID is in "Customized Mode".

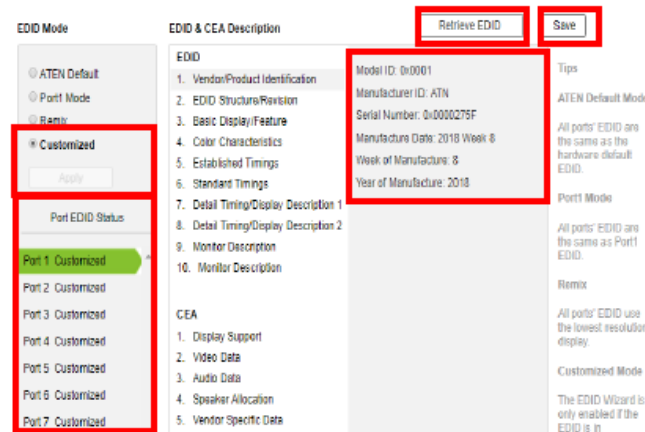
EDID モードを選択したら、「**Apply**」(適用)をクリックしてください。VM0404HB/VM0808HB は選択した EDID モードを使用するようになります。

オプションは下記のとおりです。

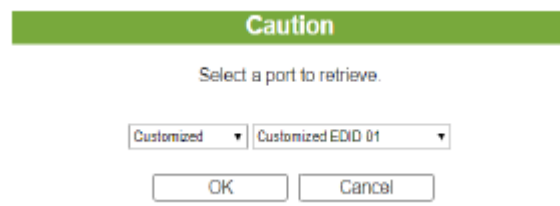
- ◆ **ATEN Default** (ATEN デフォルト) : 本体内蔵のデフォルト EDID を、すべてのビデオソースに適用します。
- ◆ **Port 1 Mode** (ポート 1 モード) : 出力ポート番号 1 に接続されたディスプレイの EDID を、すべてのビデオソースに適用します。
- ◆ **Remix** (リミックス) : すべての接続ディスプレイから EDID データを読み出し、すべてのビデオソースに最適な EDID を適用します。
- ◆ **Customized** (カスタマイズ) : 詳細については、p.73「カスタマイズモード」を参照してください。

カスタマイズモード

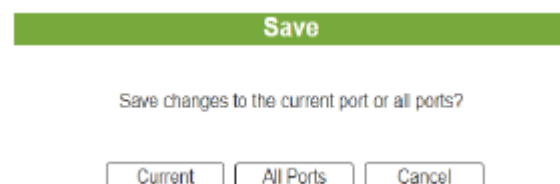
「Customized Mode」(カスタマイズモード)を使用すると、入力ソースポートに対して、接続モニター/ディスプレイの EDID 設定を自動的に読み出したり、保存したりすることができます。



- ◆ 画面の一番左側のパネルにある「EDID Mode」(EDID モード)セクションから「**Customized**」(カスタマイズ)を選択し、「**Apply**」(適用)をクリックしてください。
- ◆ **Port EDID Status**(ポート EDID の状態) : EDID 設定 (VM0404HB は 01~04、VM0808HB は 01~08)を保存したい入力ソースポートを選択してください。
- ◆ **Retrieve EDID**(EDID の読込) : クリックすると、保存済みの EDID 設定(カスタマイズした EDID 01~08、ATEN デフォルトの EDID のいずれか)を呼び出して参照できるポップアップウィンドウが表示されます。

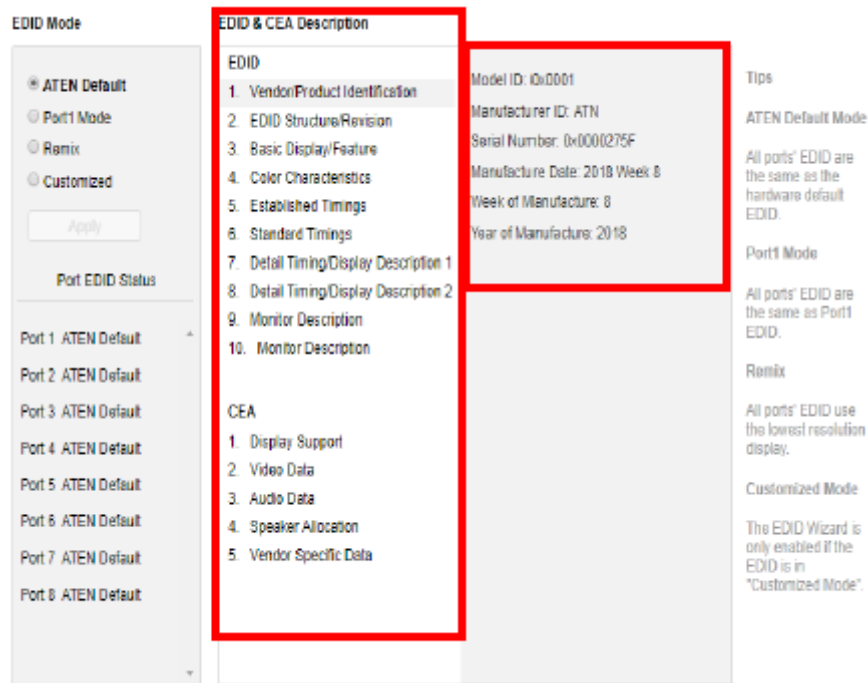


- ◆ 右側のパネルに、保存されている EDID 設定の概要が表示されます。この概要は、ここで修正することができます。セッションの間、この設定を「**Current**」(現在の)ポートと、「**All Ports**」(すべてのポート)のどちらに適用するかを選択したら、「**Save**」(保存)をクリックしてください。



EDID & CEA 説明

画面の右側のパネルでは、選択された EDID および CEA モードの設定内容が参照できます。



- ◆ 左側の欄から、参照または変更したいオプションをクリックしてください。この欄には、EDID と CEA という 2 つのカテゴリがあります。
- ◆ 左側の欄のメニュー項目を選択すると、対応する EDID の現在の設定内容が画面の右側に表示されます。メニュー項目の中には読取専用のものがあります。
- ◆ この 2 つの欄に関する詳細は、p.75「EDID のカスタマイズ設定」を参照してください。

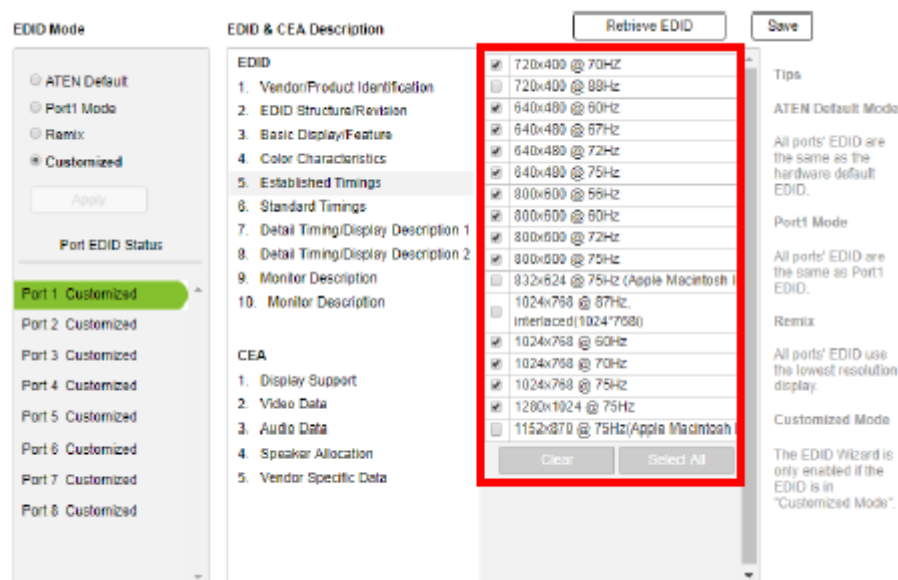
EDID のカスタマイズ設定

EDID データの構造は、全部で 128 バイトから構成されており、左側の欄に表示された各見出しにある数字はバイト数を表しています。

プリセットされた EDID モード (Port 1、Default、Remix) は、編集できません。カスタマイズ EDID の画面は編集可能です。これについては、以下のセクションで説明します。

タイミングの設定

「Established Timing」(タイミングの設定) 画面には、ディスプレイデバイスがサポートするビデオ解像度/タイミングが一覧表示されます。



- ◆ 接続モニター/ディスプレイに適用したい解像度を選択してください。
- ◆ 項目すべての選択を解除するには、「Clear」(クリア)をクリックしてください。
- ◆ 項目すべてを選択するには、「Select All」(すべて選択)をクリックしてください。
- ◆ 変更を適用するには、「Save」(保存)をクリックしてください。

標準タイミング

「Standard Timings」(標準タイミング)画面では、「Established Timings」(タイミングの設定)画面に表示された解像度/タイミングに加えて、ディスプレイデバイスが対応可能な8種類の解像度/タイミングを表示します。

EDID Mode

- ATEN Default
- Port1 Mode
- Remix
- Customized**

Apply

Port EDID Status

- Port 1 Customized**
- Port 2 Customized
- Port 3 Customized
- Port 4 Customized
- Port 5 Customized
- Port 6 Customized
- Port 7 Customized
- Port 8 Customized

EDID & CEA Description

EDID

1. Vendor/Product Identification
2. EDID Structure/Revision
3. Basic Display/Feature
4. Color Characteristics
5. Established Timings
- 6. Standard Timings**
7. Detail Timing/Display Description 1
8. Detail Timing/Display Description 2
9. Monitor Description
10. Monitor Description

H Active Pixel	V Active Pixel	R Refresh Rate	Aspect Ratio
H 1600 ▼	V 1200	R 60	4:3 ▼
H 1280 ▼	V 1024	R 60	5:4 ▼
H 1400 ▼	V 1050	R 60	4:3 ▼
H 1440 ▼	V 900	R 60	16:10 ▼
H 1600 ▼	V 1050	R 60	16:10 ▼
H 1920 ▼	V 1080	R 60	16:9 ▼
H 1280 ▼	V 800	R 60	16:10 ▼
H 1920 ▼	V 1200	R 60	16:10 ▼

CEA

1. Display Support
2. Video Data
3. Audio Data
4. Speaker Allocation
5. Vendor Specific Data

Retrieve EDID Save

Tips

ATEN Default Mode

All ports' EDID are the same as the hardware default EDID.

Port1 Mode

All ports' EDID are the same as Port1 EDID.

Remix

All ports' EDID use the lowest resolution display.

Customized Mode

The EDID Wizard is only enabled if the EDID is in "Customized Mode".

- ◆ 「H Active Pixel」(垂直アクティブピクセル)のドロップダウンメニューから、お使いの環境に適した値を選択してください。
- ◆ 「Aspect Ratio」(アスペクト比率)のドロップダウンメニューから、お使いの環境に適した値を選択してください。
- ◆ 変更を適用するには、「Save」(保存)をクリックしてください。

タイミング/ディスプレイの詳細説明

「Detail Timing/Display Description」(タイミング/ディスプレイの詳細説明)画面では、ビデオ解像度の更なるオプションと解像度/タイミングの詳細説明を提供しています。

Resolution

	Horizontal	Vertical
Image Size :	mm	mm
Active PXL :	pixel	lines
Blanking Time :	pixel	lines
Sync Offset :	pixel	lines
Sync Width :	pixel	lines
Border :	pixel	lines

ドロップダウンメニューから、接続モニター/デバイスに合う解像度の値を選択して、「Save」(保存)をクリックしてください。

モニターの詳細

「Monitor Description」(モニターの詳細)画面では、モニターやディスプレイの水平/垂直スキャン範囲やピクセルクロックレートといった表示スペックを設定します。

Horizontal Scan Range: 15 ~ 135
Vertical Scan Range: 22 ~ 121
Pixel Clock Rate (MHz): 600 (10~2550)

ご使用のデバイスに適した値を入力したら、「Save」(保存)をクリックして、この変更を適用させてください。

CEA 設定

CEA は EDID 構造の拡張データで、EDID の標準定義をさらに拡張して、モニター/ディスプレイデバイスの詳細な機能に対応させたものです。

ディスプレイサポート

この部分には、ディスプレイの基本的なデジタルコンポーネントが表示されます。

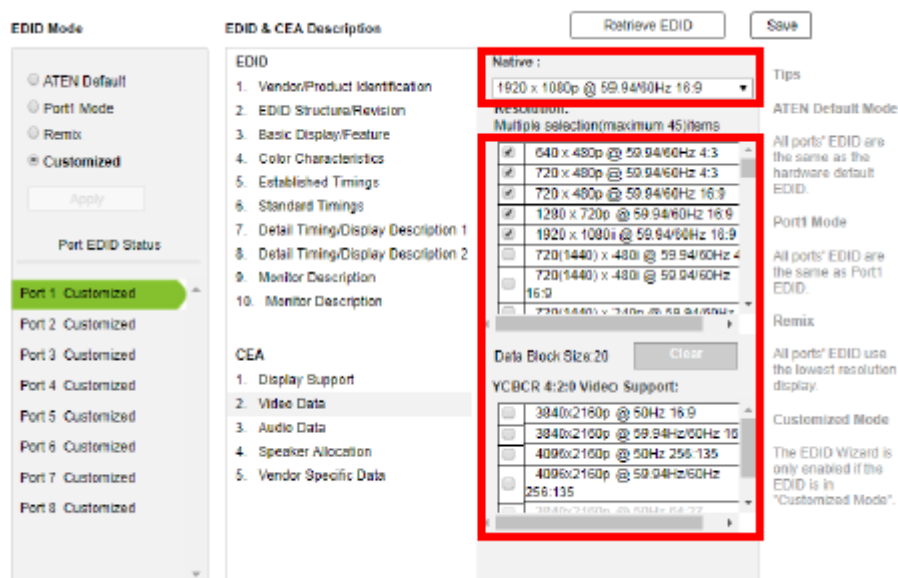
The screenshot shows the 'EDID Wizard' software interface. On the left, under 'EDID Mode', 'Customized' is selected. Below it, 'Port 1 Customized' is highlighted in green. The main area is titled 'EDID & CEA Description'. It has two tabs: 'EDID' and 'CEA'. The 'CEA' tab is active, showing a list of settings. Under 'CEA', '1. Display Support' is selected. In the 'YCbCr' section, 'YCbCr444' and 'YCbCr422' are listed, both with checkboxes. The 'YCbCr444' checkbox is checked and highlighted with a red rectangle. To the right of the main settings area, there are buttons for 'Retrieve EDID' and 'Save'. On the far right, there is a 'Tips' section with text about ATEN Default Mode, Port1 Mode, Remix, and Customized Mode.

EDID Mode	EDID & CEA Description	Buttons	Tips
● ATEN Default ● Port1 Mode ● Remix ● Customized Apply Port EDID Status - Port 1 Customized - Port 2 Customized - Port 3 Customized - Port 4 Customized - Port 5 Customized - Port 6 Customized - Port 7 Customized - Port 8 Customized	EDID 1. Vendor/Product Identification 2. EDID Structure/Revision 3. Basic Display/Feature 4. Color Characteristics 5. Established Timings 6. Standard Timings 7. Detail Timing/Display Description 1 8. Detail Timing/Display Description 2 9. Monitor Description 10. Monitor Description CEA 1. Display Support 2. Video Data 3. Audio Data 4. Speaker Allocation 5. Vendor Specific Data	Retrieve EDID Save	Tips ATEN Default Mode All ports' EDID are the same as the hardware default EDID. Port1 Mode All ports' EDID are the same as Port1 EDID. Remix All ports' EDID use the lowest resolution display. Customized Mode The EDID Wizard is only enabled if the EDID is in "Customized Mode".

ご使用のディスプレイに適した YCbCr モードを選択したら、「**Save**」(保存)をクリックしてください。

ビデオデータ

この部分には、PC モニター以外のその他のデバイスで対応しているビデオ解像度/タイミングのディスプレイが追加表示されます(例:1080i)。



- ◆ 接続ディスプレイデバイスの実効解像度を選択してください。
- ◆ 接続モニター/ディスプレイで動作する解像度を選択してください。
- ◆ 項目すべての選択を解除するには、「Clear」(クリア)をクリックしてください。
- ◆ 変更を適用するには、「Save」(保存)をクリックしてください。

オーディオデータ

この部分では、デバイスに対するオーディオの詳細設定を行うことができます。

The screenshot shows the 'EDID & CEA Description' window. On the left, under 'EDID Mode', 'Customized' is selected. In the center, the 'EDID' list has items 1 through 10. On the right, the 'Audio Format' section is highlighted with a red box, showing six dropdown menus. 'Audio Format 1' is currently set to 'Linear PCM 2-channel'. Buttons for 'Retrieve EDID' and 'Save' are at the top right.

ドロップダウンメニューから、ご使用のオーディオ出力デバイスに適用する「Audio Format」(オーディオフォーマット) (1～6)を選択したら、「Save」(保存)をクリックして、変更を適用してください。

タイミング/ディスプレイの詳細説明

この部分には、ビデオ解像度の更なるオプションと(EDID 構造で設定したものに加えて)解像度/タイミングの詳細が表示されます。

The screenshot shows the 'EDID & CEA Description' window. On the left, 'Customized' is selected. In the center, the 'EDID' list has items 1 through 10. On the right, the 'Resolution' dropdown is highlighted with a red box. Below it, a table shows 'Resolution Detail' with columns for 'Image Size', 'Horizontal', and 'Vertical'. The table contains values for 'Image Size', 'Active Pixel', 'Blanking Time', 'Sync Offset', 'Sync Width', and 'Border'. Buttons for 'Retrieve EDID' and 'Save' are at the top right.

	Horizontal	Vertical
Image Size	mm	mm
Active Pixel	pixel	lines
Blanking Time	pixel	lines
Sync Offset	pixel	lines
Sync Width	pixel	lines
Border	pixel	lines

「Resolution」(解像度)ドロップダウンメニューから接続モニター/ディスプレイに適した解像度の値を選択して、「Save」(保存)をクリックしてください。

メンテナンス

「Maintenance」(メンテナンス)画面では、VM0404HB/VM0808HB のファームウェアアップグレード、およびシステム設定のバックアップやリストアを行うことができます。これはアドミニストレーターのみが操作可能な機能です。



ファームウェアをアップグレードするには、下記の手順に従ってください。

1. 「**Browse...**」(参照)ボタンをクリックして、ファームウェアアップグレードファイルを読み出してください。ローカル PC に正しいファイルが保存されていることを確認してください。
2. 「**Upgrade**」(アップグレード)をクリックして、アップグレードを開始してください。

注意: ファームウェアのアップデート後は、Web ブラウザのキャッシュを消去してから、このブラウザを閉じて、再度開くことを推奨します。この操作により、GUI が確実に更新されて、正しく機能します。

VM0404HB/VM0808HB のシステム設定をバックアップするには、下記の手順に従ってください。

1. 「**Backup**」(バックアップ)をクリックしてください。そうすると、設定ファイルのダウンロードを開始します。

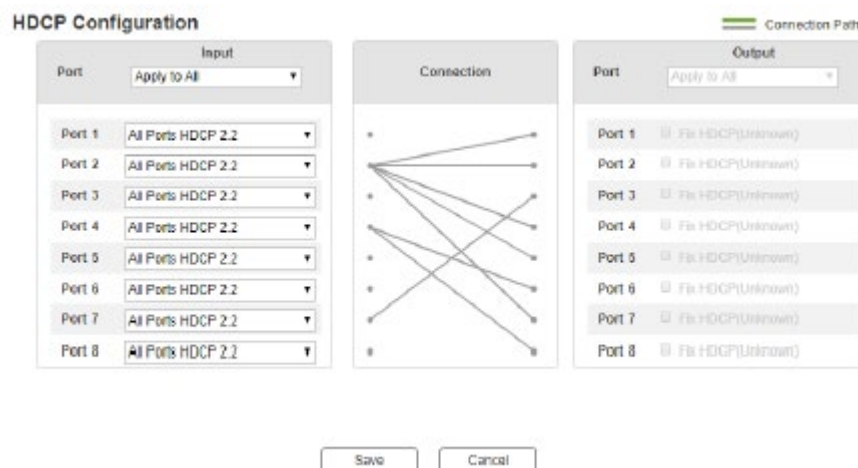
VM0404HB/VM0808HB のシステム設定をリストアするには、下記の手順に従ってください。

1. 「**Browse**」(参照)をクリックして、設定ファイルを選択してください。正しいファイルがお使いのコンピューターに保存されていることを確認してください。
2. 「**Restore**」(リストア)をクリックしてください。そうすると、リストア処理が開始します。

注意: ユーザーアカウントのバックアップやリストアはできません。

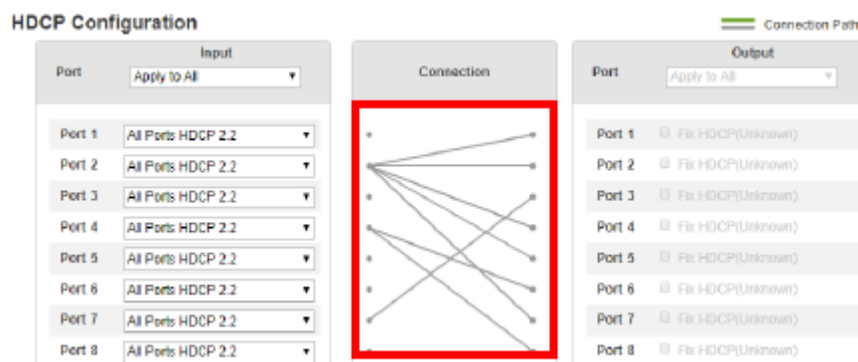
HDCP

「HDCP」画面では、デジタルコンテンツの不正コピーからデータを保護しながら各種デバイス間でシームレス切替を確実に行えるようにするために、入出力ポート間で使用するHDCPキーの値を参照したり、これを設定したりすることができます。これは、アドミニストレーターと上級ユーザーに限定された機能です。



入力

このセクションでは、入力ポートのコンテンツを HDCP 2.2、HDCP 1.4、非 HDCP 対応のいずれかに設定することができます。



接続

このセクションでは、入出力の接続の組み合わせを視覚的に確認することができます。入力を選択すると、その入力に対する出力との関連付けがグリーン色の線で表示されます。

CEC

CEC 機能は、相互接続された HDMI デバイス間の通信や応答を 1 つのリモコンの操作で行うことができる機能です。

CEC

Port	CEC
	Apply to All ▼
Port1	☐ OFF
Port2	☒ ON
Port3	☐ OFF
Port4	☐ OFF
Port5	☐ OFF
Port6	☐ OFF
Port7	☐ OFF
Port8	☐ OFF

* The CEC setting is only for output boards, please make sure all devices have this capability.

Save Cancel

各ポートに対して CEC を設定するには、下記の操作を行ってください。

- ◆ ドロップダウンメニューから、「Apply to All」(すべてに適用)を選択して、すべてのポートに対してオプションを設定してください。

または

- ◆ ポート毎に「ON」または「OFF」を選択して、この機能の有効/無効を設定してください。

Telnet 操作

VM0404HB/VM0808HB は Telnet を使用したリモートターミナルセッションを経由して、操作や設定を行うことができます。

Telnet セッションを使用して、VM0404HB/VM0808HB にログインするには、下記の操作を行ってください。

1. ご使用のコンピュータで、ターミナル(コマンドライン)セッションを開いてください。
2. コマンドプロンプトに、下記のように VM0404HB/VM0808HB の IP アドレスを入力してください。

telnet [IP アドレス]: 23

3. [Enter]を押してログイン画面を表示してください。そうしたら、ログイン画面で、ログインプロンプトにユーザーネームとパスワードを入力してください。

注意: すでにセッションを使用しているユーザーネームでログインすると、新しいセッションが有効になり、既存のセッションから置き換わります。

設定メニュー

VM0404HB/VM0808HB への Telnet セッションが確立すると、デバイスのテキストベースの設定メニューが下記のように表示されます。

1. H - ヘルプ用にコマンドリストを呼び出し

コマンドリストは下記のとおりです。

IP - IP アドレスの設定

LO - プロファイル番号 *nn* からの接続読込

PW - パスワード変更

RI - どの入力ポートが出力ポート番号 *nn* に接続されているかを読込

RO - どの出力ポートが入力ポート番号 *nn* に接続されているかを読込

SB - シリアルポートのボーレートを設定

SS - 入力ポート番号を指定したポートに切替

SV - 現在のプロファイルをプロファイル番号 *nn* に保存

TI - タイムアウトを設定

VR - ソフトウェアのバージョン情報

Ctrl-Q - 終了

2. IP - ネットワークの設定

◆ IP アドレスの設定

IP

Old IP Address: 192.168.0.60

Old IP Subnet Mask: 255.255.255.0

Old Gateway Address: 192.168.0.1

New IP Address:

◆ サブネットマスクの設定

IP

Old IP Address: 192.168.0.60

Old IP Subnet Mask: 255.255.255.0

Old Gateway Address: 192.168.0.1

New IP Address: 10.3.52.220

New IP Subnet Mask:

◆ ゲートウェイアドレスの設定

IP

Old IP Address: 192.168.0.60

Old IP Subnet Mask: 255.255.255.0

Old Gateway Address: 192.168.0.1

New IP Address: 10.3.52.220

New IP Subnet Mask: 255.255.254.0

New Gateway Address:

注意: 新しい IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが入力されると、VM0404HB/VM0808HB は自動的に再起動し、新しいネットワーク設定が適用されます。

3. LO - プロファイルからの接続読込

LO 01

プロファイル番号 01 の読込 OK

4. PW - パスワードの変更

PW

Old password: ****

New password:

5. RI - どの入力ポートが出力ポート番号 *nn* に接続されているかを読み

RI 01

入力ポート番号 02、04 が出力ポート番号 01 に接続されています。

6. RO - どの出力ポートが入力ポート番号 *nn* に接続されているかを読み

RO 01

出力ポート番号 02 が入力ポート番号 01 に接続されています。

7. SB - シリアルポートのボーレートを設定

SB 96

シリアルポートのボーレートは 9600 に設定します。

8. SS - 入力ポートを指定した出力ポートに切替

SS 01, 03

入力ポート番号 01 を出力ポート番号 03 に切り替えます。

9. SV - 現在の表示パターンをプロファイルに保存

SV 01

現在の表示パターンをプロファイル番号 01 に保存します。

10. TI - タイムアウトの設定

TI 30

タイムアウトを 30 分に設定します。

11. VR - ソフトウェアのバージョン情報

VR

Software version 1.0

注意: 1. 本マニュアルにおける RS-232 コマンドは、すべて Telnet モードでも適用可能です。詳細は p.88 をご参照ください。

-
2. これらの機能に関する詳細は、本章の前半にあるブラウザ GUI 機能の該当箇所を参照してください。
-

第5章

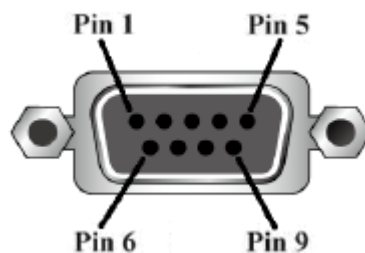
RS-232 コマンド

シリアル操作プロトコルコマンド

VM0404HB/VM0808HB に搭載された双方向通信の RS-232 シリアルインターフェースを経由して、シリアルリモートコントローラーや PC を使用したシステムコントロールを行うことができます。

RS-232 ピンアサイン

ピン	説明	ピン	説明
1	未接続	6	未接続
2	SD	7	未接続
3	RD	8	未接続
4	未接続	9	未接続
5	GND		



シリアルポートの設定

コントローラーのシリアルポートは下表のとおりに設定してください。

ボーレート	19200
データビット	8 ビット
パリティ	なし
ストップビット	1 ビット
フロー制御	なし

入力確認

コマンドが送信されると、下記のような確認メッセージがコマンドラインの最後に表示されます。

- ◆ **Command OK** - コマンドは正確で、その機能が実行されます。
- ◆ **Command incorrect** - コマンドのフォーマット、または値が間違っています。

ポート切替コマンド

このコマンドを使うと、VM0404HB/VM0808HB のポートを切り替えることができます。

ポート切替コマンドの構文は、下記のとおりです。

切替コマンド+入力+番号 1+出力+番号 2+操作+[Enter]

1. 例えば、入力ポート 02 を出力ポート 05 に切り替えるには、下記を入力します。

sw i02 o05 [Enter]

2. 出力ポート 04 を次のポートに切り替えるには、下記を入力します。

sw o04 + [Enter]

3. ポート 03 のビデオ出力を OFF にするには、下記を入力します。

sw o03 off [Enter]

本製品のポート切替コマンドで利用できる値は下表のとおりです。

コマンド	説明
sw	切替コマンド

入力	説明
i	入力ポートコマンド

番号 1	説明
xx	入力ポート xx : (VM0404HB の場合)01~04、(VM0808HB の場合)01~08

出力	説明
o	出力ポートコマンド

番号 2	説明
yy	出力ポート yy : (VM0404HB の場合)01~04、(VM0808HB の場合)01~08
*	出力ポートすべて

操作	説明
on	ディスプレイへのビデオ出力 ON
off	ディスプレイへのビデオ出力 OFF
+	次のポート
—	前のポート

- 注意:**
- デフォルトでは、入力ポート 01 は出力ポート 01 に、入力ポート 02 は出力ポート 02 に、入力ポート 08 は出力ポート 08 に、というように接続されています (例: o01 i01、o02 i02…o8 i8)。
 - 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。
 - ポート番号**(番号 1、番号 2)のパラメーターは省略することができます。この場合は、デフォルト値が使用されます。

利用可能なポート切替コマンドは下表のとおりです。

コマンド	入力	番号 1	出力	番号 2	操作	Enter	説明
sw	i	xx	o	yy *		[Enter]	入力ポート xx を出力ポート yy に切替 xx: (VM0404HB の場合)01~04、 (VM0808HB の場合)01~08 yy: (VM0404HB の場合)01~04、 (VM0808HB の場合)01~08、または*
sw			o	yy *	on off	[Enter]	出力ポート yy へのビデオ出力を ON 出力ポート yy へのビデオ出力を OFF yy: (VM0404HB の場合)01~04、 (VM0808HB の場合)01~08、または*
sw			o	yy *	+ —	[Enter]	出力ポート yy を次の出力ポートに切替。 出力ポート yy を前の出力ポートに切替。 yy: (VM0404HB の場合)01~04、 (VM0808HB の場合)01~08、または*

EDID コマンド

EDID(Extended Display Identification Data)は、ディスプレイの基本情報を含むデータフォーマットで、ビデオソース/システムとの通信に使用されます。

EDID コマンドの構文は、下記のとおりです。

EDID コマンド+入力+番号+操作+[Enter]

- 例えば、出力ポート1に接続されたディスプレイのEDID設定を適用し、これを入力ポート2に接続されたビデオソースに伝送する場合は、下記を入力してください。

edid i02 port1 [Enter]

EDID コマンドで利用できる値は下表のとおりです。

コマンド	説明
edid	EDID モードコマンド

入力	説明
i	入力ポート

ポート番号	説明
xx	入力ポート xx : (VM0404HB の場合)01~04、(VM0808HB の場合)01~08
*	入力ポートすべて

操作	説明
port.yy	出力ポート yy に接続されたディスプレイの EDID を実装し、それをビデオソースに送信します。 yy : (VM0404HB の場合)01~04、(VM0808HB の場合)01~08
remix	すべての接続ディスプレイの EDID を実装します。 VM0404HB/VM0808HB は、すべてのディスプレイに対して最適な解像度を使用します。
default.yy	18 種類ある ATEN のデフォルト EDID の中から、指定されたものを実装します yy : 00~17 (デフォルトは 00)

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

利用可能な EDID コマンドは下表のとおりです。

コマンド	入力	番号	操作	Enter	説明
edid			port.yy	[Enter]	出力ポート yy の EDID をコピーして、すべてのビデオソースへと伝送します。 yy : (VM0404HB の場合)01~04、 (VM0808HB の場合)01~08
edid	i	xx *	port.yy	[Enter]	出力ポート yy の EDID をコピーして、入力ポート xx のビデオソースへと伝送します。 xx : (VM0404HB の場合)01~04、 (VM0808HB の場合)01~08、または* yy : (VM0404HB の場合)01~04、 (VM0808HB の場合)01~08
edid			default.yy	[Enter]	18 種類ある ATEN のデフォルト EDID から、指定されたものをすべてのビデオソースに対して実装します。 yy : 00~17

(表は次のページに続きます)

コマンド	入力	番号	操作	Enter	説明
edid	i	xx *	default,yy	[Enter]	18 種類ある ATEN のデフォルト EDID から、指定されたものを入力ポート xx のビデオソースに対して実装します。 xx : (VM0404HB の場合) 01~04、 (VM0808HB の場合) 01~08、または* yy : 00~17
edid			remix	[Enter]	すべての接続ディスプレイの EDID を実装します。VM0404HB/VM0808HB は、すべてのディスプレイに対して最適な解像度を使用します。

下表は 18 種類ある ATEN のデフォルト EDID を一覧にしたものです。これらのデフォルト EDID は RS-232 コマンドから選択することができます。

デフォルト EDID No.	説明	備考
00	4K2K ビデオ、2ch オーディオ (デフォルト)	
01	1080p ビデオ、2ch オーディオ	
02	1080p ビデオ、5.1ch オーディオ	
03	1080p ビデオ、7.1ch オーディオ	
04	1080i ビデオ、2ch オーディオ	
05	1080i ビデオ、5.1ch オーディオ	
06	1080i ビデオ、7.1ch オーディオ	
07	3D 1080p、2ch オーディオ	
08	3D 1080p、5.1ch オーディオ	
09	3D 1080p、7.1ch オーディオ	
10	1,024×768 DVI フォーマット	DVI モード
11	1,280×1,024 DVI フォーマット	DVI モード
12	1,920×1,080 DVI フォーマット	DVI モード
13	1,920×1,200 DVI フォーマット	DVI モード
14	3,840×2,160 @30Hz、7.1ch オーディオ	
15	3,840×2,160 @60Hz、7.1ch オーディオ	
16	4,096×2,160 @30Hz、7.1ch オーディオ	
17	4,096×2,160 @60Hz、7.1ch オーディオ	

ミュートコマンド

ミュートコマンドを使うと、任意の出力ポートまたはすべての出力ポートに対して、音声を有効または無効にすることができます。

ミュートコマンドの構文は、下記のとおりです。

ミュートコマンド+出力+番号+操作+[Enter]

- 例えば、出力ポート 01 からの音声をミュートするには、下記を入力してください。

mute o01 on [Enter]

ミュートコマンドで利用できる値は下表のとおりです。

コマンド	説明
mute	ミュートコマンド

出力	説明
o	出力ポート

番号	説明
yy	出力ポート番号 (VM0404HB の場合) <i>xx</i> : 01~04 (デフォルトは 01) (VM0808HB の場合) <i>xx</i> : 01~08 (デフォルトは 01)
*	出力ポートすべて

操作	説明
on	ミュート ON: 出力ポートの音声を無効にします。
off	ミュート OFF: 出力ポートの音声を有効にします (デフォルト)。

注意:

- 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。
- 出力ポートを省略すると、全出力ポートのオーディオを無効または有効にすることができます。

利用可能なミュートコマンドは下表のとおりです。

コマンド	出力	番号	操作	Enter	説明
mute	o	yy *	on	[Enter]	出力ポート yy の音声をミュートします。 yy: (VM0404HB の場合)01～04、 (VM0808HB の場合)01～08 または*
mute	o	yy *	off	[Enter]	出力ポート yy の音声を有効にします(デフォルト)。 yy: (VM0404HB の場合)01～04、 (VM0808HB の場合)01～08 または*

CEC コマンド

CEC(Consumer Electronics Control)とは、1 台のリモコンを操作するだけで、相互に接続されている HDMI デバイスの通信や応答を可能にするものです。

CEC コマンドの構文は下記のとおりです。

CEC コマンド+出力+番号+操作+[Enter]

- 例えば、出力ポート 1 に対して CEC 機能を有効にするには、下記を入力します。

cec o01 on [Enter]

CEC コマンドで利用できる値および構文は下表のとおりです。

コマンド	説明
cec	CEC コマンド

出力	説明
o	出力ポートコマンド

番号	説明
yy	出力ポート番号 (VM0404HB の場合) <i>xx</i> : 01~04 (デフォルトは 01) (VM0808HB の場合) <i>xx</i> : 01~08 (デフォルトは 01)
*	出力ポートすべて

操作	説明
off	CEC コントロールを無効にします(デフォルト)。
on	CEC コントロールを有効にします。

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

利用可能な CEC コマンドは下表のとおりです。

コマンド	出力ポート	操作	Enter	説明
cec	yy *	off	[Enter]	出力ポート yy に対する CEC を無効にします (デフォルト)。 yy: (VM0404HB の場合)01～04、 (VM0808HB の場合)01～08 または*
cec	yy *	on	[Enter]	出力ポート yy に対する CEC を有効にします。 yy: (VM0404HB の場合)01～04、 (VM0808HB の場合)01～08 または*

エコーコマンド

エコー機能は、製品本体のフロントパネルにあるプッシュボタン、Web ブラウザまたは Telnet から操作が行われた際に、更新されたことを RS-232 コントローラーへメッセージで伝えます。変更が行われた場合、その内容が RS-232 コントローラーにエコーバックされるので、設定内容は常に製品本体と同期を取ることができます。

エコーコマンドの構文は下記のとおりです。

エコーコマンド + 操作 + [Enter]

- 例えば、エコーコマンドを有効にするには、下記を入力してください。

echo on [Enter]

エコーコマンドで使える値は下表のとおりです。

コマンド	説明
echo	エコーコマンド

操作	説明
on	エコー機能を有効にします。
off	エコー機能を無効にします (デフォルト)。

注意： 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

利用可能なエコーコマンドは下表のとおりです。

コマンド	操作	Enter	説明
echo	on	[Enter]	エコー機能を有効にします。
echo	off	[Enter]	エコー機能を無効にします (デフォルト)。

画面暗転コマンド

画面暗転コマンドは、ソースデバイスからの信号が検知されなくなった際に、モニターの画面を暗転させるものです。これによって、ソースデバイスからの信号が検知されなくなった際に、ディスプレイがデフォルトのブルーや他の色の画面に変わることがなくなります。

画面暗転コマンドの構文は、下記のとおりです。

画面暗転コマンド+操作+[Enter]

- 例えば、画面暗転コマンドを有効にするには、下記を入力してください。

blackscreen on [Enter]

画面暗転コマンドで利用できる値は下表のとおりです。

コマンド	説明
blackscreen	画面暗転コマンド

操作	説明
on	画面暗転機能を有効にします(デフォルト)。
off	画面暗転機能を無効にします。

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

利用可能な画面暗転コマンドは下表のとおりです。

コマンド	操作	Enter	説明
blackscreen	on	[Enter]	画面暗転機能を有効にします。
blackscreen	off	[Enter]	画面暗転機能を無効にします。

読込コマンド

読込コマンドは、デバイスにおける現在の設定やファームウェア情報などを参照することができます。

読込コマンドの構文は下記のとおりです。

読込コマンド+[Enter]

1. 情報を読み込んで表示するには、下記を入力してください。

read [Enter]

注意： 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

利用可能な読込コマンドは下表のとおりです。

コマンド	Enter	説明
read	[Enter]	デバイスに関する情報を参照することができます。この情報には、入力/出力接続、オーディオ/ビデオや CEC の状態、EDID 設定、およびファームウェアバージョンが含まれます。

リセットコマンド

リセットコマンドを使うと、VM0404HB/VM0808HB を工場出荷時のデフォルト設定にリセットすることができます。この操作を行うと、デバイスの IP アドレスもリセットされます。

リセットコマンドの構文は下記のとおりです。

リセットコマンド+[Enter]

注意： 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

利用可能なリセットコマンドは下表のとおりです。

コマンド	Enter	説明
reset	[Enter]	デバイスの設定をリセットします。

ボーレートコマンド

ボーレートコマンドを使うと、VM0404HB/VM0808HB が RS-232 通信で使用するボーレートを選択することができます。オプションは、9600、19200(デフォルト)、38400、および 115200 です。

ボーレートの設定コマンドの構文は下記のとおりです。

ボーレートコマンド + 操作 + [Enter]

- 例えば、ボーレートとして 38400 を選択する場合、下記を入力します。

baud 38400 [Enter]

ボーレートコマンドで利用できる値は下表のとおりです。

コマンド	説明
baud	RS-232 ボーレートを設定します。

操作	説明
9600	ボーレート 9600 を使用します。
19200	ボーレート 19200 を使用します(デフォルト)。
38400	ボーレート 38400 を使用します。
115200	ボーレート 115200 を使用します。

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

利用可能なボーレートコマンドは下表のとおりです。

コマンド	操作	Enter	説明
baud	9600/19200/38400/ 115200	[Enter]	ボーレートを設定します。

プロファイルの保存/呼び出しコマンド

プロファイルの保存/呼び出しコマンドでは、接続プロファイルの保存や呼び出しをすることができます。プロファイルを保存すると、現在使用中の接続を保存します。

プロファイルの保存/呼び出しコマンドの構文は下記のとおりです。

コマンド+プロファイル+番号+操作+[Enter]

- 例えば、現在の接続設定をプロファイル番号 02 に保存するには、下記を入力してください。

profile f02 save [Enter]

- プロファイル番号 12 の接続を呼び出すには、下記を入力してください。

profile f12 load [Enter]

プロファイルの保存/呼び出しコマンドで利用できる値は下表のとおりです。

コマンド	説明
profile	プロファイルを保存/呼び出します。

プロファイル	説明
f	プロファイル(番号)

番号	説明
yy	プロファイル番号 (VM0404HB の場合) <i>xx</i> : 01～08 (デフォルトは 01) (VM0808HB の場合) <i>xx</i> : 01～16 (デフォルトは 01)

操作	説明
save	現在のプロファイルを保存します。
load	プロファイルを呼び出します。

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

利用可能なプロファイルの保存/呼び出しコマンドは下表のとおりです。

コマンド	プロファイル	番号	操作	Enter	説明
profile	f	yy	save	[Enter]	現在の接続をプロファイル番号 yy として保存します。 (VM0404HB の場合) yy : 01～08 (VM0808HB の場合) yy : 01～16
profile	f	yy	load	[Enter]	プロファイル番号 yy を呼び出します。 (VM0404HB の場合) yy : 01～08 (VM0808HB の場合) yy : 01～16

電源状態検知コマンド

VM0808HB では、このコマンドで電源状態検知機能を有効または無効に設定することができます。

電源状態検知コマンドの構文は下記のとおりです。

電源状態検知コマンド + 操作 + [Enter]

- 例えば、電源状態検知コマンドを有効にする場合は、下記を入力してください。

pod on [Enter]

電源状態検知コマンドで利用できる値は下表のとおりです。

コマンド	説明
pod	電源状態検知コマンド

操作	説明
on	電源状態検知機能を有効にします。
off	電源状態検知機能を無効にします。

注意： 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

利用可能な電源状態検知コマンドは下表のとおりです。

コマンド	操作	Enter	説明
pod	on	[Enter]	電源状態検知機能を有効にします。
pod	off	[Enter]	電源状態検知機能を無効にします。

付録

製品仕様

機能	VM0404HB	VM0808HB
ビデオ入力		
インターフェース	HDMI タイプ A メス×4	HDMI タイプ A メス×8
インピーダンス	100 Ω	
最大距離	ソースデバイスとの最大距離:1.8 m(4K @ 60Hz (4:4:4))	
ビデオ出力		
インターフェース	HDMI タイプ A メス×4	HDMI タイプ A メス×8
インピーダンス	100 Ω	
最大距離	ディスプレイとの最大距離:3m(4K @ 60Hz (4:4:4))、15m(1,920×1,200)	
ビデオ		
最大データ伝送速度	18 Gbps	
最大ピクセルクロック	600 MHz	
規格準拠	HDMI (3D、Deep Color、4K)、HDCP 2.2、CEC	
最大解像度	最大 4,096×2,160 / 3,840×2,160 @60Hz(4:4:4)	
制御		
RS-232	コネクタ:DB-9 ピン メス×1 ボーレート:19200、データビット:8、 ストップビット:1、パリティ:無、フローコントロール:無	
IR	ミニジャック×1	
イーサネット	RJ-45 メス×1	
EDID 設定	EDID モード:デフォルト／ポート1／リミックス／カスタマイズ(EDID ウィザード対応)	

(表は次のページに続きます)

機能	VM0404HB	VM0808HB
電源		
コネクター	3 極 AC 電源ソケット×1	
最大電源仕様	AC 100～240V、50/60Hz、1A (日本仕様は PSE 対応 3P/100V 電源コードを同梱)	
消費電力	17.8W	38.1W
動作環境		
動作温度	0～40℃	
保管温度	-20～60℃	
湿度	0～85% RH、結露なきこと	
ケース		
ケース材料	メタル	
重量	2.47 kg	3.99 kg
サイズ(W×D×H)	437×163×44mm	432×262×44mm
同梱品	電源コード×1 IR リモコン×1 IR レシーバー×1 マウントキット×1 クイックスタートガイド×1	